

桑名・員弁広域環境基本計画
令和5年度年次報告書
(令和4年度取り組み実績)

[共通取り組み]

令和6年3月

桑名・員弁広域連合

目 次

I 市町ごとの評価および桑名・員弁地域全体の評価の一覧

市町ごとの評価および桑名・員弁地域全体の評価の一覧	2
---------------------------	---

II 項目ごとの取り組み実績および評価

1 地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる 循環型社会の地域づくり	4
1-(1)地球温暖化の防止	4
1-(2)資源・エネルギーの有効活用	10
1-(3)廃棄物対策の推進	15
2 豊かな自然が守られた、水と緑と人が共生する 魅力ある地域づくり	20
2-(1)自然環境の保全	20
2-(2)公益的機能の保全	26
3 安らぎの空間のなかで、安心・快適に暮らせる地域づくり	31
3-(1)生活環境の保全	31
3-(2)都市環境の保全	36
4 協働でつくる、人と環境にやさしい地域づくり	41
4-(1)環境教育・環境学習の強化	41
4-(2)環境保全活動の推進	47

I 市町ごとの評価および 桑名・員弁地域全体の 評価の一覧

令和4年度 市町ごとの評価および桑名・員弁地域全体の評価の一覧

項目	共通取り組み	市町ごとの評価	市町評価		地域全体評価			頁数	
			前年	本年	前年		本年		
1-(1)地球温暖化の防止	緑のカーテンの推進	桑名市	B	→	B	B	→	B	4
		いなべ市	B	→	B				
		木曽岬町	A	→	A				
		東員町	B	→	B				
1-(2)資源・エネルギーの有効活用	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	桑名市	A	→	A	A	↘	B	10
		いなべ市	-	↘	C				
		木曽岬町	A	↘	C				
		東員町	C	↗	A				
1-(3)廃棄物対策の推進	小学校等へのごみに関する出前講座	桑名市	A	→	A	A	→	A	15
		いなべ市	A	→	A				
		木曽岬町	B	→	B				
		東員町	B	→	B				
2-(1)自然環境の保全	希少動植物の調査・保護	桑名市	B	→	B	B	→	B	20
		いなべ市	A	→	A				
		木曽岬町	B	→	B				
		東員町	C	→	C				
2-(2)公益的機能の保全	農地の荒廃防止	桑名市	B	→	B	A	→	A	26
		いなべ市	B	→	B				
		木曽岬町	A	→	A				
		東員町	A	→	A				
3-(1)生活環境の保全	河川の水質向上	桑名市	B	→	B	C	↗	B	31
		いなべ市	B	↗	A				
		木曽岬町	C	→	C				
		東員町	B	↗	A				
3-(2)都市環境の保全	花づくり活動の実施	桑名市	A	→	A	A	→	A	36
		いなべ市	B	→	B				
		木曽岬町	B	↗	A				
		東員町	A	→	A				
4-(1)環境教育・環境学習の強化	環境学習会の開催	桑名市	B	↘	C	C	→	C	41
		いなべ市	C	↗	B				
		木曽岬町	B	→	B				
		東員町	B	→	B				
4-(2)環境保全活動の推進	一斉清掃活動の実施	桑名市	C	↗	A	B	↗	A	47
		いなべ市	B	→	B				
		木曽岬町	B	↗	A				
		東員町	A	→	A				

Ⅱ 項目ごとの

取り組み実績および評価

1

地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、循環型社会の地域づくり

1-(1) 地球温暖化の防止

①今後の取り組み方針

1-(1) 地球温暖化の防止

<p>取り組み名</p>	<p>緑のカーテンの推進</p>
<p>取り組み内容</p>	<p>室内温度の上昇を抑えるとともに、涼しげな印象を与える「緑のカーテン」の取り組みを、桑名・員弁の全域で積極的に進めていきます。住民の取り組みへの参加を進めていくことによって、一人ひとりが地球温暖化防止へ一歩踏み出すきっかけづくりとしていきます。</p>
<p>展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆桑名・員弁地域の公共施設においては、原則「緑のカーテン」の実施をめざして取り組みを進めていきます。 ◆家庭および事業所に対し「緑のカーテン」の実施を呼びかけるとともに「緑のカーテン」に適した品種の種や苗、また、し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」の配布を行い、実施に協力してもらいやすい環境づくりを進めていきます。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテン自慢写真募集 ・広報、ホームページ等による啓発活動の有無 	A	両方実施	環境対策課
	B	写真募集と啓発活動のどちらかを実施	
	C	いずれも未実施	
取り組み状況			評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 広報で「緑のカーテン自慢！」の募集を行い、応募があった写真を桑名市ホームページで紹介しました。 ● 「緑のカーテン自慢！」写真募集には、1件の応募がありました。 		 <p style="text-align: center;">緑のカーテン</p>	B
			前年
			B 5件応募

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等の公共施設における「緑のカーテン」の実績 ・肥料の配布実績 ・広報等による啓発活動の有無 	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料の配布と啓発活動の両方を実施	環境政策課 管財課 教育総務課
	B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料の配布と啓発活動のいずれかを実施	
	C	対象施設のうち5割未満が実施、かつ肥料の配布と啓発活動のいずれも未実施	
取り組み状況			評価
<ul style="list-style-type: none"> ● 庁舎や小中学校等のうち、約2割の公共施設において「緑のカーテン」を実施しました。 ● 5月12日、11月10日の2回、北勢庁舎前においてソウインコンボ計600袋を配布しました。 		 <p style="text-align: center;">緑のカーテン</p>	B
			前年
			B 約1割 肥料配布 600袋

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設における「緑のカーテン」の実施 町民に対しグリーンカーテン用苗木およびし尿汚泥肥料「ソウインコンボ」無料配布の実施 	A	両方実施	住民課
	B	1つ実施	
	C	いずれも未実施	
取り組み状況			評価
<ul style="list-style-type: none"> 庁舎でのグリーンカーテンは、例年通り実施しました。他にもこども園や学校等の公共施設についても実施しました。 5月8日（日）に庁舎玄関前においてグリーンカーテン用苗木 1,000 株及びソウインコンボ 200 袋を無料配布しました。 			A
			前年
			A 両方実施

グリーンカーテン用苗木及び「ソウインコンボ」の無料配布

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 庁舎等公共施設における「緑のカーテン」実施実績 肥料・種子等の配布実績 広報、ホームページ等による啓発活動の有無 	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動の両方を実施	総務課 環境防災課 教育総務課 社会教育課
	B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料等の配布と啓発活動のいずれかを実施	
	C	対象施設のうち実施が5割未満、かつ肥料等の配布と啓発活動のいずれも未実施	
取り組み状況			評価
<ul style="list-style-type: none"> 庁舎等公共施設（17 施設）のうち、5割以上の公共施設において、「緑のカーテン」を実施しました。 ソウインコンボは配付予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、配布を中止しました。 			B
			前年
			B 5割以上実施

グリーンカーテン

市町ごとの評価			桑名・員弁地域全体の評価	
	前年	本年	前年	本年
桑名市	B	→ B	B	→ B
いなべ市	B	→ B		
木曾岬町	A	→ A		
東員町	B	→ B		
			<p>◇ 「地球温暖化の防止」のための共通取り組み「緑のカーテンの推進」について、市町ごとの令和4年度の評価は木曾岬町がA評価、他の市町がB評価となっており、いずれの市町も前年と同じ評価となっています。地域全体の評価はB評価で昨年度と同じです。</p> <p>◇ 多くの市町が、達成目標としているA評価の基準には達成できておらず、今後は地域全体としての取り組みの推進が望まれます。</p>	

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点 12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
● 「緑のカーテン」の取組を推進するために、「緑のカーテン自慢写真募集」を実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・緑のカーテン自慢写真募集 ・広報、ホームページ等による啓発活動の有無	A	両方実施	環境対策課
	B	写真募集と啓発活動のどちらかを実施	
	C	いずれも未実施	

いなべ市

次年度の方針			
● 公共施設における「緑のカーテン」実施を推進します。また、し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」の配布を継続して行うことで環境啓発を図っていきます。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎等の公共施設における「緑のカーテン」の実績 ・肥料の配布実績 ・広報等による啓発活動の有無	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料の配布と啓発活動の両方を実施	環境政策課 管財課 教育総務課
	B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料の配布と啓発活動のいずれかを実施	
	C	対象施設のうち5割未満が実施、かつ肥料の配布と啓発活動のいずれも未実施	

木曾岬町

次年度の方針			
● 家庭でのグリーンカーテンの普及促進策として、つる性植物の苗木の配布やし尿汚泥肥料「ソウインコンポ」の配布を継続して実施します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・公共施設における「緑のカーテン」の実施 ・町民に対しグリーンカーテン用苗木およびし尿汚泥肥料「ソウインコンポ」無料配布の実施	A	両方実施	住民課
	B	1つ実施	
	C	いずれも未実施	

東員町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設における「緑のカーテン」実施を更に推進します。また、し尿汚泥肥料「ソウインコンボ」の配布を継続して実施します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎等公共施設における「緑のカーテン」実施実績 ・ 肥料・種子等の配布実績 ・ 広報、ホームページ等による啓発活動の有無 	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動の両方を実施	総務課 みらい環境課 教育総務課 社会教育課
	B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料等の配布と啓発活動のいずれかを実施	
	C	対象施設のうち実施が5割未満、かつ肥料等の配布と啓発活動のいずれも未実施	

1-(2) 資源・エネルギーの有効活用

①今後の取り組み方針

1-(2) 資源・エネルギーの有効活用

取り組み名	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進
取り組み内容	環境に配慮した省資源・省エネルギーの取り組みを、桑名・員弁地域全体において進めていくことをめざすとともに、その活動を広げていくためのきっかけづくりとして、市役所・町役場における事務・事業活動の実施にあたって使用するエネルギーの削減を積極的に進めていきます。
展開	<ul style="list-style-type: none">◆各市役所および町役場（関連施設含む）において、年間を通じた事務・事業活動で使用されるエネルギー量の低減をめざします。◆エネルギー使用量の低減達成状況の判定は、各市役所および町役場で使用されるエネルギー量を毎年算出するとともに、そこから試算される二酸化炭素排出量を経年比較することで、省エネルギーの達成状況を見ていくこととします。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比5%以上削減 ※基準年度 H29	環境対策課
	B	基準年度比2.5%以上5%未満削減	
	C	基準年度比2.5%未満削減	
取り組み状況			評価
<p>●基準年度(平成29年度)のCO₂温室効果ガス排出量：15,597 t-CO₂ 令和4年度のCO₂温室効果ガス排出量：12,606 t-CO₂ 令和4年度の対基準年度比は約19.2%の減少でした。</p> <p>●桑名市省エネオフィスプランに則り、事務室等の照明は必要最小限とし、こまめに消灯を行うことや空調の適切な温度設定の徹底、公共交通機関を利用する等できる限り公用車の利用は控えるなど、温室効果ガス排出量削減の取り組みに努めました。</p>			A
			前年
			A 約19.1%減

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度 R3	管財課
	B	基準年度比1%以上2%未満削減	
	C	基準年度比1%未満の削減	
取り組み状況			評価
<p>●基準年度(令和3年度)のCO₂温室効果ガス排出量：6,481 t-CO₂ 令和4年度のCO₂温室効果ガス排出量：7,586 t-CO₂ 令和4年度の対基準年度比は約17%の増加でした。</p> <p>●令和3年度と令和4年度を比較するとガスの使用量が減少しましたが、電気及びガソリンの使用量が増加しています。そのため、令和3年度と令和4年度を比較すると令和4年度の二酸化炭素の排出量が増加しています。</p> <p>●庁舎等公共施設にて、照明の間引きやライトダウン運動の実施、空調温度の適正管理、再生可能エネルギーによる省エネルギー設備の導入などによって温室効果ガスの削減を図りました。</p>			C
			前年
			—

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度 R1	住民課
	B	基準年度比1%以上2%未満削減	
	C	基準年度比1%未満の削減	
取り組み状況			評価
<p>●基準年度（令和元年度） 二酸化炭素排出量：233 t -CO₂ 令和4年度 二酸化炭素排出量：252 t -CO₂ 令和4年度の対基準年度比は8.2%の増加でした。</p> <p>●令和元年度と令和4年度を比較すると、ガソリンの使用量は少なくなっていますが、電気とA重油の使用が増加しています。そのため、令和元年度と令和4年度を比較すると令和4年度の二酸化炭素の排出量が増加しました。</p>			C
			前年
			A 約10.7%減

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度 R1	環境防災課
	B	基準年度比1%以上2%未満削減	
	C	基準年度比1%未満の削減	
取り組み状況			評価
<p>●基準年度（令和元年度） 二酸化炭素排出量： 2,609 t -CO₂ 令和4年度 二酸化炭素排出量： 2,436 t -CO₂ 令和4年度の対基準年度比は 6.6%の減少でした。</p> <p>●公共施設のLED化を促進し、省エネルギーの取り組みを図りました。また、事務所内の不用な電気を消灯することや空調での室内温度の適正管理、公用車に低燃費車両を導入するなど、温室効果ガス削減への取り組みを行いました。</p>			A
			前年
			C 約3.7%増

市町ごとの評価		
	前年	本年
桑名市	A	→ A
いなべ市	-	↘ C
木曾岬町	A	↘ C
東員町	C	↗ A



桑名・員弁地域全体の評価		
	前年	本年
	A	→ B
<p>◇ 「資源・エネルギーの有効活用」のための共通取り組み「市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進」について、評価の内訳は、1市1町がA評価、1市1町がC評価となっています。</p> <p>◇ いなべ市と東員町については取り組みがあまり進んでいない状況にあり、地域全体の評価向上に向けて一層の省エネルギーの取り組みの推進が必要です。</p> <p>※ 前年の令和4年は省エネ法に基づく算定から、いなべ市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく策定に変更になったため、本年における評価を行っていません</p>		

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点 [地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点 [地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点 [地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下 [地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
● 本年度の評価項目を継続し、基準年度を定め、今後も省エネルギーの取り組み推進を図ります。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比5%以上削減 ※基準年度 H29	環境対策課
	B	基準年度比2.5%以上5%未満削減	
	C	基準年度比2.5%未満削減	

いなべ市

次年度の方針			
● 本年度の評価項目を継続し、基準年度を定め、今後も省エネルギーの取り組み推進を図ります。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度 R3	管財課
	B	基準年度比1%以上2%未満削減	
	C	基準年度比1%未満の削減	

木曾岬町

次年度の方針			
● 本年度の評価項目を継続し、基準年度を定め、今後も省エネルギーの取り組み推進を図ります。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度 R1	住民課
	B	基準年度比1%以上2%未満削減	
	C	基準年度比1%未満の削減	

東員町

次年度の方針			
● 本年度の評価項目を継続し、基準年度を定め、今後も省エネルギーの取り組み推進を図ります。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度 R1	みらい環境課
	B	基準年度比1%以上2%未満削減	
	C	基準年度比1%未満の削減	

1- (3) 廃棄物対策の推進

①今後の取り組み方針

1- (3) 廃棄物対策の推進

取り組み名	小学校等へのごみに関する出前講座
取り組み内容	廃棄物の発生を抑制するため、子どもの頃からごみについての理解を深めることをめざし、小学校等へのごみに関する出前講座を実施していきます。
展 開	<ul style="list-style-type: none">◆ごみがどのような場面で、どれくらいの量、発生しているか、またそれらがどのように処理されているのかなど、ごみに関する理解を子どもの頃から深めるための、ごみに関する出前講座の実施を進めていきます。◆小学校高学年では、ごみ処理施設およびし尿汚泥処理施設等の見学を実施していきます。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・ 出前講座実施件数	A	10 件以上実施	環境対策課
	B	7 件以上 10 件未満実施	
	C	7 件未満実施	
取り組み状況			評価
<p>● 桑名市内の小学校 4 年生を対象に、ごみに関する出前講座を延べ 18 件行いました。出前講座では、「ごみの現状と減量」、「塵芥収集車の仕組みと作業」について、実際に塵芥収集車を動かしながらの体験授業を実施しました。</p>		 <p style="text-align: center;">出前講座</p>	A
<p>桑名地区 13 件 多度地区 3 件 長島地区 2 件</p>			前年
			A 12 件

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・ 出前講座実施件数	A	8 件以上実施	環境政策課
	B	5 件以上 8 件未満実施	
	C	5 件未満実施	
取り組み状況			評価
<p>● 依頼のあった小中学校を対象にして、ごみに関する出前講座を延べ 8 件実施しました。出前講座では塵芥収集車の見学や、リサイクルごみの分別収集講座などを行いました。また、講座後子どもたちから、「ごみの分別の大切さがわかった。」「リサイクルに積極的に協力していきたい。」など、ごみを減らそうとする声が多く挙がりました。</p>		 <p style="text-align: center;">パッカー車見学</p>	A
			前年
			A 8 件

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・木曾岬小学校への出前講座 実施件数	A	2件以上実施	教育委員会 住民課
	B	1件実施	
	C	未実施	
取り組み状況			評価
<p>●木曾岬小学校 4年生を対象に町のごみ処理の現状について町職員による出前講座を行いました。また実際の集積場において収集車への積み込み状況の見学会もあわせて実施しました。</p> <p>(出前講座) 令和4年7月7日実施</p>		 <p>小学4年生を対象にした出前講座</p>	B
			前年
			B 1件

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・町職員によるごみに関する 出前講座実施件数	A	5件以上実施	みらい環境 課
	B	3件以上5件未満実施	
	C	3件未満実施	
取り組み状況			評価
<p>●主に小学4年生を対象にした、ごみに関する出前講座を3回実施し、塵芥収集車の仕組みや仕事についてスライドや動画を使用して説明しました。講座の中では、ごみに関する質問に答え、ごみ減量、資源ごみの分別、食品ロスなどについても、説明しました。</p> <p>(出前講座) 3件 三和小学校 令和4年5月18日 三和小学校 令和4年6月1日 神田小学校 令和4年6月3日</p>		 <p>(ストックヤードでの授業)</p>	B
			前年
			B 4件

市町ごとの評価			桑名・員弁地域全体の評価	
	前年	本年	前年	本年
桑名市	A	→ A	A	→ A
いなべ市	A	→ A		
木曾岬町	B	→ B		
東員町	B	→ B		
			<p>◇ 「廃棄物対策の推進」のための共通取り組み「小学校等へのごみに関する出前講座」については、桑名市、いなべ市がA評価でした。これは出前講座実施を行った事によるものです。木曾岬町、東員町は前年度と同じB評価でした。地域全体としての評価はA評価で昨年度と同じです。</p> <p>◇ ゴミについて子どもの頃から考える機会を増やしていくことで、地域全体としてのゴミの排出量の抑制につなげていくことが望まれます。</p>	

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点 12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
● 希望する小学校に対し出前講座を行い、3Rや食品ロス等、ごみ処理やごみ収集について理解と関心を持ってもらえるようにします。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・出前講座実施件数	A	10件以上実施	環境対策課
	B	7件以上10件未満実施	
	C	7件未満実施	

いなべ市

次年度の方針			
● ごみ処理の仕組みや役割、市内のごみ収集状況について理解を深められる環境づくりを推進していきます。また、学校が主催するイベントなど小学生が参加する機会に、職員がごみに関する情報を普及啓発し、各家庭でもごみについて関心を持ってもらえるよう取り組んでいきます。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・出前講座実施件数	A	8件以上実施	環境政策課
	B	5件以上8件未満実施	
	C	5件未満実施	

木曾岬町

次年度の方針			
● 身近なごみ問題に関心を持ってもらえるよう、小学生を対象にしたごみに関する出前講座や収集車の見学会を継続して実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・木曾岬小学校への出前講座実施件数	A	2件以上実施	教育委員会 住民課
	B	1件実施	
	C	未実施	

東員町

次年度の方針			
● 出前講座未実施の小学校に加え、保育園・幼稚園、中学校においても出前講座を活用いただけるよう周知します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・町職員によるごみに関する出前講座実施件数	A	5件以上実施	みらい環境課
	B	3件以上5件未満実施	
	C	3件未満実施	

2- (1) 自然環境の保全

①今後の取り組み方針

2- (1) 自然環境の保全

取り組み名	希少動植物の調査・保護
取り組み内容	桑名・員弁地域に生息する希少動植物の状況について、圏域住民を中心とした市町域を超えた連携による調査を実施するとともに、その保護を進めていきます。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ◆桑名・員弁地域に生息する希少動植物の状況について、圏域住民および有識者、関係団体、行政等が連携しながら、市町域を超えた調査活動を進めていきます。 ◆調査結果のデータベース化を進めることで、今後の住民活動や開発行為等における基礎データとしていきます。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・調査及び希少種保護活動	A	調査及び保護活動 6 回以上または捕獲頭数480頭以上	環境対策課/ブランド推進課/農林水産課(獣害対策室)
	B	調査及び保護活動 2 回以上6回未満または捕獲頭数300頭以上480頭未満	
	C	調査及び保護活動 2 回未満かつ捕獲頭数300頭未満	
取り組み状況			評価
<p>●イヌナシの保全活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イヌナシの保全活動 → 一般市民に参加いただき、専門家の解説によるイヌナシの周知、参加者で草刈りを実施 計 2回 			B
<p>●ヒメタイコウチの調査活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒメタイコウチ生息地での開発に対する個体の生息数及び分布の調査 計 1回 			
<p>●シカ・イノシシ・サル等、有害獣の捕獲・駆除を行う。 計 200頭</p>			前年
<p>※新型コロナウイルス蔓延防止のため、中止となった調査・活動があり、回数が去年度より減少しました。 ※前年度までに有害鳥獣の捕獲が多かったため、頭数が減少しました。</p>			B 調査・保護活動 3回 捕獲頭数 448頭

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・自然観察および調査数 ・調査結果のデータベース化等報告状況	A	自然観察および調査を6件以上実施、かつ調査結果の取りまとめ	自然学習室
	B	自然観察および調査を4件以上実施、または調査結果の取りまとめ	
	C	自然観察および調査を3件以下実施、かつ調査結果の取りまとめ未実施	
取り組み状況			評価
<p>●主に藤原岳周辺にて季節ごとに一般市民を対象とした「自然教室」を開催し、動植物、岩石等を観察しました。令和4年度は、計21回の自然教室を開催できました。</p>			A
<p>●市内の動植物相について、毎月数回程度市内各地で分布調査や生息状況の把握を実施し、そのデータをもとに報告書(館報「藤原岳」第44巻)として取りまとめました。</p>			
			前年
			A 13回

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・希少動植物の調査実施回数	A	陸生動物調査 6回以上実施	三重県/ 総務政策課
	B	陸生動物調査 2回以上5回以下実施	
	C	陸生動物調査 1回以下実施	
取り組み状況			評価
●希少動植物が見られる木曾岬干拓地での野生動植物調査として、陸生動物「チュウヒ・オオタカ」の生息状況調査を5回実施しました。			B
			前年
			B 5回

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・自然環境学習における希少動植物の観察	A	希少動植物の確認が3種以上	社会教育課
	B	希少動植物の確認が1～2種	
	C	希少動植物の確認ができなかった	
取り組み状況			評価
●町内在住の小学生を対象に「とういんネイチャーくらぶ」として環境講座を年5回実施しました。 希少動植物の観察はできませんでした。			C
			前年
			C 希少種確認 0種

市町ごとの評価			桑名・員弁地域全体の評価		
	前年	本年	前年		本年
桑名市	B	→ B	◇ 「自然環境の保全」のための共通取り組み「希少動植物の調査・保護および対象鳥獣捕獲」については、市町ごとの令和4年度の評価は、いなべ市がA評価、桑名市と木曾岬町は昨年度と同じB評価、東員町が昨年度と同じC評価となっています。地域全体の評価はB評価で昨年度と同じです。 ◇ 新型コロナ等の感染防止に取り組みつつ、希少動植物の調査の機会を増やしていくことで、地域全体としての動植物への関心を高めていくとともに、それら動植物が生息しやすい環境づくりにつなげていくことが望まれます。		
いなべ市	A	→ A			
木曾岬町	B	→ B			
東員町	C	→ C			

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点 12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
● 調査及び希少種保護活動と、桑名市鳥獣被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲を実施します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・調査及び希少種保護活動	A	調査及び保護活動 6 回以上または捕獲頭数 480 頭以上	環境対策課 /ブランド 推進課/農 林水産課 (獣害対策 室)
	B	調査及び保護活動 2 回以上 6 回未満または捕獲頭数 300 頭以上 480 頭未満	
	C	調査及び保護活動 2 回未満かつ捕獲頭数 300 頭未満	

いなべ市

次年度の方針			
● 主に藤原岳周辺にて季節ごとに一般市民を対象とした「自然教室」を開催し、動植物を観察します。前年度と同内容の講座となりますが、自然教室等の開催によって市内の動植物の生息状況について調査・把握し、普及啓発によって保護活動を推進します。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・自然観察および調査数 ・調査結果のデータベース化 等報告状況	A	自然観察および調査を 6 件以上実施、かつ調査結果の取りまとめ	自然学習室
	B	自然観察および調査を 4 件以上実施、または調査結果の取りまとめ	
	C	自然観察および調査を 3 件以下実施、かつ調査結果の取りまとめ未実施	

木曾岬町

次年度の方針			
● 木曾岬干拓地における野生動植物調査を三重県において実施していただき、希少動植物の把握と保護に努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・希少動植物の調査実施回数	A	陸生動物調査 6 回以上実施	三重県/ 総務政策課
	B	陸生動物調査 2 回以上 5 回以下実施	
	C	陸生動物調査 1 回以下実施	

東員町

次年度の方針			
● 自然環境講座を引き続き開催し希少動物の生態について学習・調査を行い、保護活動に努めていきます。なお、前年度の評価基準は継続します。			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・自然環境学習における希少動植物の観察	A	環境学習及び自然観察会を6件以上実施	社会教育課
	B	環境学習及び自然観察会を3回以上実施	
	C	環境学習及び自然観察会を1回以下実施	

2-(2) 公益的機能の保全

①今後の取り組み方針

2-(2) 公益的機能の保全

取り組み名	農地の荒廃防止
取り組み内容	農地が持つ公益的機能を保全していけるようその荒廃を防止するため、耕作放棄地を有効活用する取り組みや、環境に配慮した農地環境づくりを進めていきます。
展開	<ul style="list-style-type: none">◆農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るため、耕作放棄地となっている農地の活用を進めるとともに、地域の実状に応じた農産品の特産地化をめざした取り組みなどについて、積極的に進めていきます。◆それらの事業・取り組みを進めるにあたっては、多面的機能支払交付金などを活用することで、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	農林水産課
	B	農地面積の50%以上70%未満	
	C	農地面積の50%未満	
取り組み状況			評価
<p>●多面的機能支払交付金事業の取り組みとして、各組織が保全管理する区域内の農用地・水路・農道といった施設の維持管理やコスモスや菜の花、そばなどを植栽することにより、遊休農地の有効活用を図りました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>活動組織数：27組織</p> <p>活動範囲：農地面積2,452haに対し、対象面積1,352ha(農地面積の55%)</p>			B
			前年
			B 58% 1,439ha/ 2,482ha

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	農林整備課
	B	農地面積の50%以上70%未満	
	C	農地面積の50%未満	
取り組み状況			評価
<p>●農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動や、水路、農道、ため池の軽微な補修や植栽による景観形成、施設の長寿命化等の地域資源の質的向上を多面的機能支払い交付金事業を活用して実施しました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>活動組織数：55組織</p> <p>活動範囲：農地面積2,247haに対し、対象面積1,451ha(農地面積の65%)</p>			B
			前年
			B 68% 1,521ha/ 2,247ha

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
	B	農地面積の50%以上70%未満	
	C	農地面積の50%未満	
取り組み状況			評価
<p>●農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈り、点検作業といった農地の維持管理、また、農業用水路の軽微な補修、景観形成・生活環境保全、農村環境実践活動の生態系保全（生息状況の把握）を行いました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>活動組織数：16団体が実施しました。</p> <p>活動範囲：農地面積52,264aに対し、対象面積40,500a（農地面積の77%）</p>			A
			前年
			A 77% 40,500a/ 52,275a

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
	B	農地面積の50%以上70%未満	
	C	農地面積の50%未満	
取り組み状況			評価
<p>●多面的機能支払交付金事業を活用した各組織の取り組みについて、農用地・水路・農道の草刈りや農業用水路の泥上げ、点検作業等の農地の維持管理、また、農業者による検討会や研修会等の保安全管理推進活動、施設等の軽微な補修、農村環境保全活動の生態系保全を実施しました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>活動組織数：2組織</p> <p>活動範囲：農地面積583haに対し、対象面積467.9ha（農地面積の80%）</p>			A
			前年
			A 79% 476.16ha/ 605.6ha

（備考）多面的機能支払交付金とは、農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保安全管理を推進する交付金です。農地維持支払交付金と資源向上支払交付金から構成されます。（農林水産省が1/2、都道府県・市町村が1/2を負担）

市町ごとの評価			桑名・員弁地域全体の評価		
	前年	本年	前年		本年
桑名市	B	→ B	◇ 「公益的機能の保全」のための共通取り組み「農地の荒廃防止」については、木曾岬町、東員町がA評価、桑名市、いなべ市がB評価となっており、前年度と同じ評価でした。 ◇ 地域全体の評価はA評価で変化はなく、一定以上の取り組みが進められている状況です。 ◇ 農地の公益的な役割の保全を図るため、多面的機能支払交付金事業の取り組みを進めるなど、農地の荒廃防止対策の取り組みを広げていくことが望まれます。		
いなべ市	B	→ B			
木曾岬町	A	→ A			
東員町	A	→ A			

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点 12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して継続して実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	農林水産課
	B	農地面積の50%以上 70%未満	
	C	農地面積の50%未満	

いなべ市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して継続して実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	農林整備課
	B	農地面積の50%以上 70%未満	
	C	農地面積の50%未満	

木曾岬町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して継続して実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
	B	農地面積の50%以上 70%未満	
	C	農地面積の50%未満	

東員町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
	B	農地面積の50%以上 70%未満	
	C	農地面積の50%未満	

3- (1) 生活環境の保全

①今後の取り組み方針

3- (1) 生活環境の保全

取り組み名	河川の水質調査の実施
取り組み内容	河川の水質を良好な状態に保つため、各市町において水質調査を定期的に実施するとともに、水質調査項目の環境基準の達成をめざします。
展 開	<p>◆河川の水質を良好な状態に保つためには、排出する水質の徹底した管理が求められます。そのため、河川の水質調査を各市町で定期的 に実施するとともに、調査結果を公表することで、地域の河川の水 質状況についての住民との共有を図ります。</p> <p>◆河川の水質向上の達成状況については、各市町の水質調査地点にお ける水質調査項目の環境基準の達成度を確認することで、各年度に おける評価を行います。</p>

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・河川の水質調査地点における水質調査項目の環境基準達成率	A	90%以上	環境対策課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	
取り組み状況			評価
<p>●良質な水質、生活環境の保全のために市内河川の定期的な水質調査を市内16地点で実施しました。調査地点のうち、88.4%で環境基準が達成されていました。なお、基準未達成については、夏期の調査、及び前日までの天候が影響し、大腸菌群数、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素(DO)、水素イオン指数(pH)の項目において基準を超えたものと考えられます。</p>			B
			前年
			B 84.1%

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	環境政策課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	
取り組み状況			評価
<p>●夏季と冬季の年2回(8月と2月)に、対象の河川8地点において水質調査を行い、水素イオン濃度(pH)・生物化学的酸素要求量(BOD)・浮遊物質量(SS)・溶存酸素量(DO)・大腸菌数の各項目について環境基準を達成できているかを調査しました。8箇所の調査地点のうち、環境基準が設定されている員弁川3箇所での基準達成率は97%でした。基準未達成地点では夏場の調査が影響し、水素イオン濃度(pH)の項目において基準を超えたものと考えられます。</p>			A
			前年
			B 80%

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	産業課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	
取り組み状況			評価
<p>●中央幹線排水路の3地点でpH、BOD、COD、DO、SS、T-N、T-Pの水質状況を調査しました。中央幹線水路は、環境基準の適用がないため、独自目標とする水質基準で評価を行い、3地点とも基準に達しませんでした。</p>			C
			前年
			C 未達成

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	環境防災課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	
取り組み状況			評価
<p>●町内を流れる員弁川（河川類型A）で1地点、その他町内河川（河川類型分類なし）の9地点、計10地点の水質調査を実施しました。</p> <p>なお、環境基準のある員弁川については環境基準達成率は100%でした。</p>			A
			前年
			B 82%

市町ごとの評価	
	前年 本年
桑名市	B → B
いなべ市	B ↗ A
木曾岬町	C → C
東員町	B ↗ A



桑名・員弁地域全体の評価	
前年	本年
C	→ B
<p>◇ 「生活環境の保全」のための共通取り組み「河川の水質向上」については、A評価が1市1町、B評価が1市、C評価が1町となっています。地域全体の評価はB評価で、昨年度より向上しました。</p> <p>◇ いなべ市は環境基準の達成率が前年度80%であったのが今年度97%、また東員町は前年度82%であったのが今年度100%に達しており、それぞれB評価からA評価になっています。</p> <p>◇ 木曾岬町では、調査を行った中央幹線水路には環境基準の適用がないため、独自目標とする水質基準で評価を行いました。基準に達しませんでした。次年度以降は、河川等の水質調査の実施および環境基準達成のための取組の推進が見込まれます。</p>	

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点 12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 市内河川の水質調査を行い、水質保全及び環境変化への対応に努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 河川の水質調査地点における水質調査項目の環境基準達成率 	A	90%以上	環境対策課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	

いなべ市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 自然発生的な要因もありますが、水素イオン濃度（pH）の項目で基準を達成できない箇所があります。今後も河川 8 地点においては測定を継続し、環境基準が設定されている河川では達成率 90% を目標に水質保全に努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度 	A	90%以上	環境政策課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	

木曾岬町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 町内の中央幹線排水路の水質調査を実施し、水質状況の把握と水環境の保全に努めます。なお、中央幹線水路は環境基準がないため、独自目標とする水質基準にて評価を行うこととする。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 水質調査項目の独自目標とする水質基準達成度 	A	90%以上	産業課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	

東員町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 町内河川の水質調査を行い、水質保全に努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度 	A	90%以上	みらい環境課
	B	70%以上 90%未満	
	C	70%未満	

3-(2) 都市環境の保全

①今後の取り組み方針

3-(2) 都市環境の保全

取り組み名	花づくり活動の実施
取り組み内容	快適なうるおいのある環境づくりをめざし、圏域住民が中心となった花づくり活動を実施していきます。
展開	◆沿道や公共施設などに季節の花が咲くことで、住民と訪問者にうるおいや安らぎが与えられるよう、圏域住民が中心となった花づくり運動に取り組んでいきます。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・花苗配付のアダプトプログラム実施団体数	A	20 団体以上実施	環境対策課
	B	14 団体以上 20 団体未満実施	
	C	14 団体未満実施	
取り組み状況			評価
<p>●桑名市アダプトプログラムに登録のある里親のうち、花苗配布を希望された25 団体に對し、計 1,119 株配布しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>花苗配布（春）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>花苗配布（秋）</p> </div> </div>			A
			前年
			A 26 団体

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・花づくり運動実施団体数	A	20 団体以上実施	都市整備課
	B	15 団体以上 20 団体未満実施	
	C	15 団体未満実施	
取り組み状況			評価
<p>●花づくり運動の経費の一部を助成することにより、うるおいとやすらぎに満ちたまちづくり、花とみどりあふれる快適な生活環境づくりを推進しています。地域の公園、広場、集会施設、主要道路付近等、公共性の高い場所への花づくり運動を実施している19 団体へ経費の一部として、約53 万円を助成しました。</p>			B
			前年
			B 17 団体

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・青少年育成町民会議による花いっぱい運動における花苗の配布施設数	A	延べ10施設以上に配布	教育委員会
	B	延べ8施設以上10施設未満に配布	
	C	延べ8施設未満に配布	
取り組み状況			評価
<p>●町内の公共施設（北部公民館、小学校、中学校、こども園、ふれあいの里）に季節の花苗を配布して景観保全に努めました。 令和4年度は延べ10施設に配布しました。</p>			A
			前年
			B 8施設
			花いっぱい運動が実施された花壇

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・花いっぱい運動の参加団体数	A	20団体以上	建設課
	B	10団体以上20団体未満	
	C	10団体未満	
取り組み状況			評価
<p>●環境緑化の推進と緑化意識の高揚を図るため、自治会や町内各種団体等に、年2回花苗および肥料を配布し、沿道や公共施設など各所に植栽していただきました。 令和4年度は24団体に参加いただき、快適な環境づくりに取り組みました。</p>			A
			前年
			A 24団体

市町ごとの評価		
	前年	本年
桑名市	A	→ A
いなへ市	B	→ B
木曾岬町	B	↗ A
東員町	A	→ A



桑名・員弁地域全体の評価		
	前年	本年
	A	→ A
<p>◇ 「都市環境の保全」のための共通取り組み「花づくり活動の実施」については、A評価が3市町、B評価が1市であり、前年度と同じ評価でした。木曾岬町は、前年度のB評価からA評価に上がっています。これは花いっぱい運動における配付施設数の増加によるものです。地域全体の評価は引き続きA評価となっています。</p> <p>◇ 「花づくり活動の実施」については、継続した取り組みは進められているものの、活動を希望する住民団体の状況によって取り組み規模が変化することになるため、今後も活動への積極的な参加・協力の呼びかけを行っていくことが求められます。</p>		

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点 12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 市内で清掃美化活動をおこなっているアダプトプログラム登録団体に対して花苗を配布することにより、公園や市道を中心とした花づくり運動に取り組みます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・花苗配付のアダプトプログラム実施団体数	A	20 団体以上実施	環境対策課
	B	14 団体以上 20 団体未満実施	
	C	14 団体未満実施	

いなべ市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 今後も市内の自治会や市民で構成される団体で、花づくりに必要な種代や肥料代等の費用の一部を助成し、花づくりを実施しやすい環境づくりを推進します。そして、住民や訪問者にうるおいや安らぎを与えられるよう、地域住民が中心となった花づくり運動に取り組んでいきます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・花づくり運動実施団体数	A	20 団体以上実施	都市整備課
	B	15 団体以上 20 団体未満実施	
	C	15 団体未満実施	

木曾岬町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の花壇で使用する花苗については、次年度以降も青少年育成町民会議が実施主体となり必要数を配布して快適でうるおいのある景観保全に努めます。なお、前年度の評価基準は継続します 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・青少年育成町民会議による花いっぱい運動における花苗の配布施設数	A	延べ10施設以上に配布	教育委員会
	B	延べ8施設以上 10施設未満に配布	
	C	延べ8施設未満に配布	

東員町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、沿道や公共施設など各所に植栽していただき、快適な環境づくりに取り組みます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・花いっぱい運動の参加団体数	A	20 団体以上	建設課
	B	10 団体以上 20 団体未満	
	C	10 団体未満	

4 協働でつくる、人と環境にやさしい地域づくり

4-（1）環境教育・環境学習の強化

①今後の取り組み方針

4-（1）環境教育・環境学習の強化

取り組み名	環境学習会の開催
取り組み内容	桑名・員弁地域における自然環境や社会的な環境問題などについての情報を発信するとともに、理解を深め、住民の一人ひとりが主体的な行動ができることをめざし、さまざまな機会における環境学習会を開催していきます。
展開	<ul style="list-style-type: none">◆地域の環境についての状況を知ってもらい、環境についての関心を高めていくため、さまざまな機会を活用した環境学習会を開催していきます。◆行政域を越えた市町の連携によって、圏域住民が広く参加できる環境学習の場づくりを進めていきます。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・地球温暖化対策やエネルギーに関する出前講座及び施設見学会、自然観察会等の実施回数	A	14 回以上実施	環境対策課/ グリーン資産創造課
	B	10 回以上 14 回未満実施	
	C	10 回未満実施	
取り組み状況			評価
<p>●省エネルギー行動や地球温暖化対策の重要性を学ぶため、体験型環境学習出前講座を市内小学校にて計4回実施しました。</p>  <p style="text-align: center;">環境学習出前講座 (省エネルギー教室)</p> <p>●講座後の子どもたちが書いたアンケートで「電気の大切さを知ることができた。」「地球温暖化を止めるために自分にできることをやっていきたい。」など、省エネルギーに対する意識が高まるような声が多く挙がりました。</p>			C
			前年
			B 13回

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・ごみ処理施設見学会や自然学習講座の実施回数	A	60 回以上実施	あじさいクリーンセンター 自然学習室
	B	40 回以上 60 回未満実施	
	C	40 回未満実施	
取り組み状況			評価
<p>●あじさいクリーンセンターに市内 8 校から小学生と教員合わせて 238 人が社会見学に訪れました。その他、依頼があった3団体に向けて施設見学会を実施し計 26 人の参加がありました。</p> <p>●地域の方を先生に迎えた自然学習講座には、令和4年度は全 9 講座 46 回、計 538 人の参加がありました。</p>  <p style="text-align: center;">あじさいクリーンセンター見学会</p>			B
			前年
			C 30回

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象にした環境関連施設等の見学会の実施 町の小中学校に赴任した先生を対象に環境関連施設等の見学会の実施 	A	両方実施	教育委員会
	B	いずれかを実施	
	C	いずれも未実施	
取り組み状況			評価
			
<p>メガソーラー発電所見学 (小学3年生)</p>		<p>リサイクルの森見学 (小学4年生)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 町の小中学校に赴任した先生を対象に木曾岬干拓地内の「メガソーラー発電所」を見学予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 木曾岬小学校 4年生を対象にごみ処理施設「リサイクルの森」の見学会を実施して環境学習を実施しました。 木曾岬小学校 3年生を対象に木曾岬干拓地内「メガソーラー発電所」の見学会を実施しました。 			<p>B</p> <p>見学会 (小学生) 実施</p>
			前年

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量等に関する学習会実施回数 小学生や自治会を対象にした環境関連施設等での環境学習の実施回数 自然観察会等実施回数 	A	10回以上実施	みらい環境課 社会教育課
	B	5回以上 10回未満実施	
	C	5回未満実施	
取り組み状況			評価
<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量等に関する学習会実施実績 瀬古泉カフェ(シニアクラブ)での出前講座を通して、ごみの出し方について質問の受付と回答を行い、ごみの分別やごみの減量についての啓発を行いました。1回 町内小学校 4年生を対象に出前講座及び「東員町資源ごみストックヤード」の見学会を実施して環境学習を実施しました。3回 自然観察会等実施実績 地元で自然環境の保護に取り組むボランティアの方々に講師を依頼し、小学生の受講者を募って環境講座「とういんネイチャーくらぶ」を5回開催しました。 			<p>B</p>
			前年
			B 8回

市町ごとの評価		
	前年	本年
桑名市	B	↘ C
いなべ市	C	↗ B
木曾岬町	B	→ B
東員町	B	→ B



桑名・員弁地域全体の評価		
	前年	本年
	C	→ C
<p>◇ 「環境教育・環境学習の強化」のための共通取り組み「環境学習会の開催」については、B評価が3市町、C評価が1市となっています。桑名市は前年度B評価からC評価になりましたが、これは出前講座などが13件から4件に減った事によるものです。また、いなべ市は前年度C評価からB評価になりましたが、これは自然学習会などが昨年度30回から57回に増加したことによるものです。地域全体での評価は、前年度と同じC評価となっています。</p> <p>◇ 令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため環境教育・環境学習の取り組みが中止されたため、いずれの市町においても評価基準の達成が難しくなっています。</p> <p>◇ 今後は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえつつ、安全を確保しながら環境教育や環境学習の取り組みを進めていくことが必要となります。</p>		

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に地球温暖化対策やエネルギーに関する出前講座を実施して、体験を通じて環境問題について考える機会や、自然観察会や体験型学習会で自然環境に対する関心を高めてもらうよう努めます。 また、小・中学生を対象に、体験を通じてゼロカーボンについて学び、考える機会を提供するよう努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・地球温暖化対策やエネルギーに関する出前講座、施設見学会及び体験型学習会、自然観察会の実施回数	A	14回以上実施	環境対策課/ グリーン資 産創造課
	B	10回以上14回未満実施	
	C	10回未満実施	

いなべ市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 自然を体感できる活動、地域の歴史・文化にふれる活動や施設の見学等、子どもの頃から環境問題について考える機会を多く提供するように努めます。今後、ごみ処理施設以外の環境関連施設での見学会の実施を見据え、評価項目を環境関連施設等の見学会や自然学習講座の実施回数へ変更します。なお前年度の評価基準は継続して、講座や見学会の安定的な開催をめざします。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・環境関連施設等の見学会や自然学習講座の実施回数	A	60回以上実施	環境衛生課 あじさいクリ ンセンター 自然学習室
	B	40回以上60回未満実施	
	C	40回未満実施	

木曾岬町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 環境教育及び環境学習の一環として、小学生及び町の小中学校に赴任した先生を対象に環境関連施設の見学会等を実施して環境学習の一助とします。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・小学生を対象にした環境関連施設等の見学会の実施 ・町の小中学校に赴任した先生を対象に環境関連施設等の見学会の実施	A	両方実施	教育委員会
	B	いずれかを実施	
	C	いずれも未実施	

東員町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ減量に関する学習会について、自治会を対象とした学習会開催回数を増やすこととします。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量等に関する学習会実施回数 ・小学生を対象にした環境関連施設等での環境学習の実施回数 ・自然観察会等実施回数 	A	10回以上実施	未来環境課 社会教育課
	B	5回以上 10回未満実施	
	C	5回未満実施	

4- (2) 環境保全活動の推進

①今後の取り組み方針

4- (2) 環境保全活動の推進

取り組み名	一斉清掃活動の実施
取り組み内容	身近な場所の生活環境をより良くするとともに、きれいな環境づくりへの意識を高めることをめざし、圏域住民の参加による一斉清掃活動を行っていきます。
展 開	<ul style="list-style-type: none">◆地域のより良い環境づくりと環境に対する意識を高めていくため、住民、団体、事業所、行政などの連携により一斉清掃活動を行っていきます。◆広く圏域住民が参加する、2市2町が連携した一斉清掃活動の実施をめざしていきます。

桑名市

評価項目	評価区分	基準	担当課																				
・各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数	A	2000 回以上実施	環境対策課 ／アセット マネジメン ト課																				
	B	1000 回以上 2000 回未満実施																					
	C	1000 回未満実施																					
取り組み状況			評価																				
<p>●アダプトプログラムの登録団体のうち、57 団体が 1,510 回行ないました。</p> <p>●個人・団体等による美化清掃活動を、個人 19 回・団体等 588 回、合計 607 回行ないました。</p> <p>(内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>個人</td> <td>11 名</td> <td>19 回</td> <td>※1～3名による活動</td> </tr> <tr> <td>自治会</td> <td>296 自治会</td> <td>491 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>まちづくり協議会</td> <td>3 協議会</td> <td>4 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業・団体</td> <td>19 団体</td> <td>37 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>35 団体</td> <td>56 回</td> <td></td> </tr> </table> <p>※その他…農家組合・漁協、老人・子ども会、民生児童委員、学校、公的機関</p> <p>●国交省などの一斉清掃と、地域活動団体が中心になって木曾三川の河川敷で行っている環境美化清掃活動に月 2 回参加しました。計 25 回</p>			個人	11 名	19 回	※1～3名による活動	自治会	296 自治会	491 回		まちづくり協議会	3 協議会	4 回		企業・団体	19 団体	37 回		その他	35 団体	56 回		A
個人	11 名	19 回	※1～3名による活動																				
自治会	296 自治会	491 回																					
まちづくり協議会	3 協議会	4 回																					
企業・団体	19 団体	37 回																					
その他	35 団体	56 回																					
			前年																				
			C 0 回																				

いなべ市

評価項目	評価区分	基準	担当課
・各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数	A	40 回以上実施	環境政策課 環境衛生課
	B	30 回以上 40 回未満実施	
	C	30 回未満実施	
取り組み状況			評価
<p>●自治会や事業者、その他地域の団体等が中心になって、市内の道路・公園・集会所等の美化清掃活動に取り組んでいます。現在、ごみ袋を市から無償提供しており、申請団体の数で実施団体を把握しています。令和 4 年度は、年度を通して 33 回の清掃活動が行われ、延べ約 3,800 人以上の参加がありました。</p>			B
			前年
			B 37 回

木曾岬町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・年2回の一斉清掃を全自治会に参加呼びかけ	A	2回実施	住民課
	B	1回実施	
	C	未実施	
取り組み状況			評価
<p>●6月と12月の第1日曜日を町内一斉清掃の日と定め、全自治会に対して参加を呼び掛けました。</p> <p>また、ゴミ袋や衛生散布剤等必要な物品を支給するなど物品支援を行い、町内の環境美化活動の支援を行いました。</p>		 <p>町内一斉清掃の様子</p>	A
			前年
			B 1回実施

東員町

評価項目	評価区分	基準	担当課
・環境美化活動、清掃活動の実施回数	A	50回以上実施	環境防災課
	B	35回以上50回未満実施	
	C	35回未満実施	
取り組み状況			評価
<p>●自治会において、定期的に一斉清掃を実施しています。令和4年度は延べ98回実施しました。また、清掃用ゴミ袋の配布など環境美化活動の支援を行いました。</p>		<p>A</p>	
			前年
			A 72回実施

市町ごとの評価		
	前年	本年
桑名市	C	↗ A
いなべ市	B	→ B
木曽岬町	B	↗ A
東員町	A	→ A



桑名・員弁地域全体の評価		
	前年	本年
	B	↗ A
<p>◇ 「環境保全活動の推進」のための共通取り組み「一斉清掃活動の実施」については、本年度は桑名市、いなべ市がB評価、木曽岬町、東員町がA評価となっています。桑名市が昨年度のC評価からB評価になりますが、これは清掃活動の評価項目を、職員の清掃活動参加回数から各種団体等の実施する清掃活動に見直したことによるものです。また木曽岬町は昨年度のB評価からA評価になりますが、これは清掃活動の回数が増えた事によるものです。地域全体の評価は前年度と同じB評価となっています。</p> <p>◇ 今後は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえつつ、安全を確保しながら一斉清掃活動などの取り組みを進めていくことが必要となります。</p>		

[桑名・員弁地域全体での評価基準]

評価項目	評価区分	基準	
市町ごとの評価を点数化し、合計の総点数で評価	AA	合計 12点	[地域全体として積極的に取り組まれている]
	A	合計 10~11点	[地域として一定以上に取り組まれている]
	B	合計 8~9点	[地域として取り組みにバラツキがみられる]
	C	合計 7点以下	[地域として取り組みが低迷している]

[点数化の考え方]

- ・ A→3点、B→2点、C→1点とし、4市町の合計（満点 12点）を算出する

桑名市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 市民、自治会、事業者等が中心となり、市内の道路・公園等の公共空間の美化・清掃活動を行っています。市からは、清掃用具及びごみ袋の支給や貸与を行い、活動を支援していきます。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数	A	2000回以上実施	環境対策課/ アセットマネジメント課
	B	1000回以上 2000回未満実施	
	C	1000回未満実施	

いなべ市

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化は、自治会や事業者等の地域団体による協力が不可欠です。今後ごみの受入体制を整え、ごみ袋の無償提供等を実施することで積極的な清掃活動への参加を推進します。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数	A	40回以上実施	環境政策課 環境衛生課
	B	30回以上 40回未満実施	
	C	30回未満実施	

木曾岬町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 快適で住みよい町づくり、地域づくりを推進するため、自治会及び企業に対して年2回の町内一斉清掃への参加を呼びかけ美化活動を推進します。自治会に対する支援策としては、ごみ袋や土のう袋を提供するなど物品支援を中心に継続して実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・年2回の一斉清掃を全自治会に参加呼びかけ	A	2回実施	住民課
	B	1回実施	
	C	未実施	

東員町

次年度の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 地域のより良い環境づくりのため、環境美化にかかる取り組みを継続して推進します。なお、前年度の評価基準は継続します。 			
評価項目	評価区分	基準	担当課
・環境美化活動、清掃活動の実施回数	A	50回以上実施	みらい環境課
	B	35回以上 50回未満実施	
	C	35回未満実施	

参考資料 桑名市の評価指標

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針【評価項目と基準】

共通取り組み【桑名市】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	・緑のカーテン自慢写真募集 ・広報・ホームページ等による啓発活動の有無	A	両方実施	環境対策課
			B	写真募集と啓発活動のどちらかを実施	
			C	いずれも未実施	
1-(2)	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比5%以上削減 ※基準年度H29	環境対策課
			B	基準年度比2.5%以上5%未満削減	
			C	基準年度比2.5%未満削減	
1-(3)	小学校等へのごみに関する出前講座	・出前講座実施件数	A	10件以上実施	環境対策課
			B	7件以上10件未満実施	
			C	7件未満実施	
2-(1)	希少動植物の調査・保護	・調査及び希少種保護活動	A	調査及び保護活動6回以上または捕獲頭数480頭以上	環境対策課/ ブランド推進課/ 農林水産課(獣害対策室)
			B	調査及び保護活動2回以上6回未満または捕獲頭数300頭以上480頭未満	
			C	調査及び保護活動2回未満かつ捕獲頭数300頭未満	
2-(2)	農地の荒廃防止	・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	農林水産課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	
3-(1)	河川の水質調査の実施	・河川の水質調査地点における水質調査項目の環境基準達成率	A	90%以上	環境対策課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	
3-(2)	花づくり活動の実施	・花苗配布のアダプトプログラム登録団体数	A	20団体以上実施	環境対策課
			B	14団体以上20団体未満実施	
			C	14団体未満実施	
4-(1)	環境学習会の開催	・地球温暖化対策やエネルギーに関する出前講座及び施設見学会及び体験型学習会、自然観察会の実施回数	A	14回以上実施	環境対策課/ グリーン資産創造課
			B	10回以上14回未満実施	
			C	10回未満実施	
4-(2)	一斉清掃活動の実施	・各種団体等が実施する一斉清掃への参加回数	A	2000回以上実施	環境対策課/ アセットマネジメント課
			B	1000回以上2000回未満実施	
			C	1000回未満実施	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	・緑のカーテン自慢写真募集 ・広報・ホームページ等による啓発活動の有無	A	両方実施	環境対策課
			B	写真募集と啓発活動のどちらかを実施	
			C	いずれも未実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	緑のカーテン自慢 写真募集	家庭で取り組んでいる緑のカーテンの写真を広報、HPで募集。応募写真をHPで紹介。普及促進を図る。	実施	1件
R5 (計画)	緑のカーテン自慢 写真募集	家庭で取り組んでいる緑のカーテンの写真を広報、HPで募集。応募写真をHPで紹介。普及促進を図る。	実施	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	<p>●「緑のカーテン自慢！」写真募集には、1件の応募がありました。 応募があった「緑のカーテン自慢！」の写真を桑名市ホームページで紹介しました。</p>
----	---

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	・「緑のカーテン」の取組を推進するために、「緑のカーテン自慢写真募集」を実施します。なお、前年度の評価基準は継続します。
------------	--

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	事業名	日時	事業内容	場所	数量	担当課
R4	緑のカーテン自慢 写真募集		家庭で取り組む緑のカーテンの写真募集、HP掲載	広報・HP	1件	環境対策課
R5 (計画)	緑のカーテン自慢 写真募集		家庭で取り組む緑のカーテンの写真募集、HP掲載	広報・HP		環境対策課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(2)	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比5%以上削減 ※基準年度H29	環境対策課
			B	基準年度比2.5%以上5%未満削減	
			C	基準年度比2.5%未満削減	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	省エネルギー取組推進	二酸化炭素排出量の削減	基準年度(平成29年度)比4%以上減	約19.2%減
R5 (計画)	省エネルギー取組推進	二酸化炭素排出量の削減	基準年度(平成29年度)比5%以上減	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準年度(平成29年度)のCO2温室効果ガス排出量: 15,597t-CO2 令和4年度のCO2温室効果ガス排出量: 12,606t-CO2 令和4年度の対基準年度比は約19.2%の減少でした。 ● 桑名市省エネオフィスプランに則り、事務室等の照明は必要最小限とし、こまめに消灯を行うことや空調の適切な温度設定の徹底、公共交通機関を利用する等できる限り公用車の利用は控えるなど、温室効果ガス排出量削減の取り組みに努めました。
----	---

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	・ 本年度の評価項目を継続し、今後も省エネルギーの取り組み推進を図ります。
------------	---------------------------------------

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	事業名	実施内容	実施件数	担当課
R4	省エネルギー取組推進	二酸化炭素排出量の削減	約19.2%減	環境対策課
R5 (計画)	省エネルギー取組推進	二酸化炭素排出量の削減		環境対策課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(3)	小学校等へのごみに関する出前講座	・出前講座実施件数	A	10件以上実施	環境対策課
			B	7件以上10件未満実施	
			C	7件未満実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	出前講座の推進	「ごみゼロ社会」実現に向けた取り組みの一環として、小学校にて3Rに関する出前講座を実施する。また、学校周辺のごみ集積場において、塵芥収集車を活用した収集見学に対応する。	13	18
R5 (計画)	出前講座の推進	「ごみゼロ社会」実現に向けた取り組みの一環として、小学校にて3R、食品ロス等についての出前講座を実施する。また、塵芥収集車を活用して、ごみ収集作業やごみ分別方法の質疑応答などの収集見学に対応する。	13	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	<p>●桑名市内の小学校4年生を対象に、ごみに関する出前講座を延べ18件行いました。出前講座では、「ごみの現状と減量」、「塵芥収集車の仕組みと作業」について、実際に塵芥収集車を動かしながらの体験授業を実施しました。</p> <p>桑名地区 13件 多度地区 3件 長島地区 2件</p>
----	---

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	<p>●希望する小学校に対して出前講座を行い、3Rや食品ロス等、ごみ収集について理解と関心を持ってもらえるようにします。なお、前年度の評価基準は継続します。</p>
------------	--

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	実施場所	実施日	実施内容	参加人数	担当課
R4	城東小学校	6月27日	「ごみの現状と減量」、「塵芥収集車の仕組みと作業」について、実際に塵芥収集車を動かしながらの体験授業を実施。	7	環境対策課
	精義小学校	6月28日		23	
	大和小学校	6月30日		18	
	深谷小学校	7月1日		23	
	益世小学校	7月4日		63	
	大山田北小学校	7月5日		88	
	多度北小学校	7月7日		14	
	城南小学校	7月8日		66	
	日進小学校	7月11日		34	
	修徳小学校	7月14日		55	
	多度東小学校	9月8日		8	
	久米小学校	9月12日		42	
	藤が丘小学校	9月16日		71	
	長島中部小学校	9月22日		74	
	長島北部小学校	10月6日		20	
	七和小学校	10月17日		67	
	大成小学校	10月25日		31	
多度中小学校	11月4日	67			
R5 (計画)	桑名市内の小学校	未定	「ごみの現状と減量」、「塵芥収集車の仕組みと作業」について、実際に塵芥収集車を動かしながらの体験授業を実施。	未定	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(1)	希少動植物の調査・保護	・調査及び希少種保護活動	A	調査及び保護活動6回以上または捕獲頭数480頭以上	環境対策課/ ブランド推進課/ 農林水産課(獣害対策室)
			B	調査及び保護活動2回以上6回未満または捕獲頭数300頭以上480頭未満	
			C	調査及び保護活動2回未満かつ捕獲頭数300頭未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	イヌナシの保全について	イヌナシの樹木を保全する	2回	2回
	ヒメタイコウチの調査について	ヒメタイコウチを調査する	2回	1回
	木曾三川探鳥会について	木曾三川の河口部の冬鳥を中心に観察する	1回	中止
	有害鳥獣対策事業	シカ・イノシシ・サル等、有害獣の捕獲・駆除を行う。	480頭	200頭
R5 (計画)	イヌナシの保全について	イヌナシの樹木を保全する	2回	
	ヒメタイコウチの調査について	ヒメタイコウチを調査する	2回	
	木曾三川探鳥会について	木曾三川の河口部の冬鳥を中心に観察する	1回	
	有害鳥獣対策事業	シカ・イノシシ・サル等、有害獣の捕獲・駆除を行う。	480頭	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	(1)イヌナシの保全活動について ・イヌナシの保全活動→一般市民に参加いただき、専門家の解説によるイヌナシの周知、参加者で草刈りを実施 (2)ヒメタイコウチの調査活動について ・ヒメタイコウチ生息地での開発に対する個体の生息数及び分布の調査 (3)木曾三川探鳥会について(コロナ渦により蔓延を防止するため中止) ・木曾三川の河口部の冬鳥を中心に観察する (4)有害鳥獣対策事業について ・シカ・イノシシ・サル等、有害獣の捕獲・駆除を行う。	計2回 計1回 中止 計200頭
----	--	---------------------------------------

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	(1)イヌナシの保全活動について(昨年と同等の活動内容) ・イヌナシの保全活動→一般市民に参加いただき、専門家の解説によるイヌナシの周知、参加者で草刈りを実施 (2)ヒメタイコウチの調査活動について ・ヒメタイコウチ生息地での開発に対する個体の生息数及び分布の調査 (3)木曾三川探鳥会について ・木曾三川の河口部の冬鳥を中心に観察する (4)有害鳥獣対策事業について ・シカ・イノシシ・サル等、有害獣の捕獲・駆除を行う。
------------	--

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	事業名	調査者	調査箇所	調査回数	担当課
R4	イヌナシの保全について	NPO、市	成木にき損はないか確認 実生の成長状況(樹高)の確認	2回	ブランド推進課
	ヒメタイコウチの調査について	外注	ヒメタイコウチの生息数、分布の調査	1回	
	木曾三川探鳥会について	応募者	木曾三川の河口部の冬鳥を中心に観察	中止	環境対策課
	有害鳥獣対策事業	外注、市	シカ・イノシシ・サル等、有害獣の捕獲・駆除	200頭	農林水産課 (獣害対策室)
R5 (計画)	イヌナシの保全について	NPO、市	成木にき損はないか確認 実生の成長状況(樹高)の確認		ブランド推進課
	ヒメタイコウチの調査について	外注	ヒメタイコウチの生息数、分布の調査		
	木曾三川探鳥会について	応募者	木曾三川の河口部の冬鳥を中心に観察		環境対策課
	有害鳥獣対策事業	外注、市	シカ・イノシシ・サル等、有害獣の捕獲・駆除		農林水産課 (獣害対策室)

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(2)	農地の荒廃防止	・多面的機能支払交付金事業に係る活動 範囲	A	農地面積の70%以上	農林水産課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	多面的機能支払交付金	農地維持活動・資源向上活動	農地面積の70%以上	55%
R5 (計画)	多面的機能支払交付金	農地維持活動・資源向上活動	農地面積の70%以上	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	<p>多面的機能支払交付金事業の取り組みとして、各組織が保安全管理する区域内の農用地・水路・農道といった施設の維持管理やコスモスや菜の花、そばなどを植栽することにより、遊休農地の有効活用を図りました。</p> <p>【令和4年度実績】 活動組織数：27組織 活動範囲：農地面積2,452haに対し、対象面積1,352ha(農地面積の55%)</p>
----	--

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して継続して実施します。
------------	--

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	実施事業	農地面積	事業面積	割合	担当課
R4	多面的機能支払交付金事業	2,452ha	1,352ha	55%	農林水産課
R5 (計画)	多面的機能支払交付金事業	2,412ha	1,425ha	59%	農林水産課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(1)	河川の水質調査の実施	・河川の水質調査地点における水質調査項目の環境基準達成率	A	90%以上	環境対策課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	地点(目標・予定)	地点(実績)	担当課
R4	河川の水質調査	河川	16	16	環境対策課
R5 (計画)	河川の水質調査	河川	16		環境対策課

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当無し		
R5 (計画)		該当無し		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	良質な水質、生活環境の保全のために市内河川の定期的な水質調査を市内16地点で実施しました。調査地点のうち、88.4%で環境基準が達成されました。 なお、基準未達成については、夏期の調査、及び前日までの天候が影響し、大腸菌数、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素(DO)、水素イオン指数(pH)の項目において基準を超えたものと考えられます。
----	--

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	市内河川の水質調査を行い、水質保全及び環境変化への対応に努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。
------------	---

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	対象	地点数	地点当たり調査回数	項目数	調査内容 (項目明記)	環境基準達成率(%)	担当課
R4	河川(員弁川本流・揖斐川)	3	8	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌	95.1%	環境対策課
	河川(員弁川水系)	7	1	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌	69.0%	
	河川(揖斐川水系)	1	1	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌	66.7%	
	河川(多度町内 肱江川)	2	2	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌	91.7%	
	河川(多度町内 多度川)	2	2	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌	87.5%	
	河川(長島町内)	1	1	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌	66.7%	
R5 (計画)	河川(員弁川本流・揖斐川)	3	8	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌		環境対策課
	河川(員弁川水系)	7	1	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌		
	河川(揖斐川水系)	1	1	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌		
	河川(多度町内 肱江川)	2	2	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌		
	河川(多度町内 多度川)	2	2	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌		
	河川(長島町内)	1	1	6	pH,DO,SS,BOD,COD,大腸菌		

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(2)	花づくり活動の実施	・花苗配布のアダプトプログラム登録団体数	A	20団体以上実施	環境対策課
			B	14団体以上20団体未満実施	
			C	14団体未満実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	花苗配布事業(春まき)	希望するアダプトプログラム登録団体へ花苗を配布し、花づくり運動に取り組む。	10団体	13団体
	花苗配布事業(秋まき)	希望するアダプトプログラム登録団体へ花苗を配布し、花づくり運動に取り組む。	10団体	12団体
R5 (計画)	花苗配布事業(春まき)	希望するアダプトプログラム登録団体へ花苗を配布し、花づくり運動に取り組む。	10団体	
	花苗配布事業(秋まき)	希望するアダプトプログラム登録団体へ花苗を配布し、花づくり運動に取り組む。	10団体	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	桑名市アダプトプログラムに登録のある里親のうち、花苗配布を希望された25団体に対し 計1,119株 配布しました。
----	---

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	市内で清掃美化活動をおこなっているアダプトプログラム登録団体に対して花苗を配布することにより、公園や市道を中心とした花づくり運動に取り組みます。なお、前年度の評価基準は継続します。
------------	--

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	事業名	実施日	アダプトプログラム登録団体	配布苗数(株)	担当課
R4	花苗配布事業(春まき)	5月31日	三重北農業協同組合桑名支店	50	環境対策課
			東海労働金庫 桑名支店	12	
			出口美笑会	42	
			天神チーム	50	
			高塚チーム	50	
			チームポインタ	50	
			東海郵政研修センター	50	
			三重北農業協同組合久米支店	50	
			木曾三川ごみの会	50	
			ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン(株)	50	
	日本郵便(株) 桑名郵便局	36			
	城南地区宅老所 サロンそよかぜ	50			
	花いろの会	50			
	花苗配布事業(秋まき)	11月24日	三重北農業協同組合 桑名支店	50	
			高塚チーム	50	
			天神チーム	50	
			チームポインタ	50	
			東海郵政研修センター	50	
			出口美笑会	35	
			三重北農業協同組合久米支店	30	
(株)薫田工務店			40		
東海労働金庫 桑名支店			24		
花いろの会			50		
城南地区宅老所 サロンそよかぜ)	50				
明治安田生命保険相互会社桑名営業部	50				
R5 (計画)	花苗配布事業(春まき)				
	花苗配布事業(秋まき)				

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(1)	環境学習会の開催	・地球温暖化対策やエネルギーに関する出前講座及び施設見学会及び体験型学習会、自然観察会の実施回数	A	14回以上実施	環境対策課/ グリーン資産 創造課
			B	10回以上14回未満実施	
			C	10回未満実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数 (目標・予定)	回数・件数 (実績)
R4	環境学習推進事業	小学校での地球温暖化対策、エネルギーに関する出前講座を実施	10校	4
	体験型学習会	小学生親子などを対象に体験型学習会を実施	2回	0
	自然観察会	小学校及び小学生親子などを対象に桑名市の自然環境に関する観察会を実施	2回(校)	0
	ゼロカーボンフェア	ゼロカーボンの啓発事業として、展示や環境学習を総合的に実施する予定		0
R5 (計画)	環境学習推進事業	小学校での地球温暖化対策、エネルギーに関する出前講座を実施	10校	
	体験型学習会	小学生親子などを対象に体験型学習会を実施	2回	
	自然観察会	小学校及び小学生親子などを対象に桑名市の自然環境に関する観察会を実施	2回(校)	
	環境学習推進事業	小・中学生を対象に、体験を通じてゼロカーボンについて学ぶ	2校	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・ 廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネルギー行動や地球温暖化対策の重要性を学ぶため、体験型環境学習出前講座を市内小学校で計4回実施しました。 ●多度山こもれびの森で森林について学ぼうを開催する予定でしたが、雨天のため中止になりました。 ●市内での冬鳥の観察は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、中止になりました。 ●ゼロカーボンの啓発事業として展示や環境学習の総合的なイベントを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。
----	---

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	小学生を対象に地球温暖化対策やエネルギーに関する出前講座を実施し、体験を通じて環境問題について考える機会や、自然観察会や体験型学習会で自然環境に対する関心を高めてもらうよう努めます。また、小・中学生を対象に、体験を通じてゼロカーボンについて学び、考える機会を提供するよう努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。
------------	--

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	実施月日	実施事業	実施内容	参加人数	担当課	
R4	1月18日	環境学習推進事業	長島北部小学校 参加型(省エネ)	31人	環境対策課	
	1月26日		桑部小学校 参加型(風力)	34人		
	2月9日		七和小学校 参加型(風力)	48人		
	2月24日		多度東小学校 参加型(省エネ)	2人		
		中止	体験型学習会	多度山こもれびの森で森林について学ぼう(雨天のため中止)		中止
		中止	自然観察会	木曾三川探鳥会(新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止)		中止
		中止	ゼロカーボンフェア	ゼロカーボンの啓発事業として、展示や環境学習を総合的に実施する予定		中止
R5 (計画)		環境学習推進事業			環境対策課	
		体験型学習会				
		自然観察会				
	未定	環境学習推進事業 ゼロカーボン社会を学ぼう	小・中学生を対象に、体験を通じてゼロカーボンについて学ぶ機会を設ける予定	未定	グリーン資産 創造課	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(2)	一斉清掃活動の実施	各種団体等が実施する一斉清掃への参加回数	A	2000回以上実施	環境対策課 /アセットマネ ジメント課
			B	1000回以上2000回未満実施	
			C	1000回未満実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	アダプトプログラムの活動実績	アダプトプログラムに登録している里親による環境美化活動実施	2,000回	1,510回
	個人・団体等による美化清掃活動	自主的に公共の場所(公園・道路・河川・広場その他の公共の場所)で、美化清掃活動を行う個人・団体等に、美化清掃用ごみを交付し、活動の支援を行っています	700回	607回
	「川と海のクリーン作戦」	国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所主催の河川一斉清掃への参加	1回	1回
	長良川流域連携クリーン作戦事業	長良川環境レンジャー協会主催の地元企業、桑名市役所、国土交通省木曾川下流河川事務所等行政の皆さん、木曾三川ごみの会の河川一斉清掃への参加	1回	1回
	「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」	木曾三川ごみの会、長島河川の会主催の一斉清掃への参加	23回	23回
R5 (計画)	アダプトプログラムの活動実績	アダプトプログラムに登録している里親による環境美化活動実施	2,000回	
	個人・団体等による美化清掃活動	自主的に公共の場所(公園・道路・河川・広場その他の公共の場所)で、美化清掃活動を行う個人・団体等に、美化清掃用ごみを交付し、活動の支援を行っています	700回	
	「川と海のクリーン作戦」	国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所主催の河川一斉清掃への参加	1回	
	長良川流域連携クリーン作戦事業	長良川環境レンジャー協会主催の地元企業、桑名市役所、国土交通省木曾川下流河川事務所等行政の皆さん、木曾三川ごみの会の河川一斉清掃への参加	1回	
	「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」	木曾三川ごみの会、長島河川の会主催の一斉清掃への参加	22回	

【新規・変更・廃止事業】※該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
R5 (計画)		該当なし		

【実施内容】※上記取組について詳しい内容を記入してください。

R4	<ul style="list-style-type: none"> ●アダプトプログラムの活動を、57団体が1,510回行ないました。 ●個人・団体等による美化清掃活動を、個人23名・団体584団体が607回行ないました。 ●国交省などの一斉清掃と、地域活動団体が中心になって木曾三川の河川敷で行っている環境美化清掃活動に月2回参加しました。計 25回
----	--

【今後の取組方針】※令和4年度の取組の評価基準変更の有無と取組方針について記入してください。

R5 (計画)	市民、自治会、事業者等が中心となり、市内の道路・公園等の公共空間の美化・清掃活動を行っていきます。市からは、清掃用具及びごみ袋の支給や貸与を行い、活動を支援していきます。なお、前年度の評価基準は継続します。
------------	---

【詳細データ】※取組の実績値や詳細内容について記入してください。

年度	実施月日	実施事業	実施内容	参加人数	担当課		
R4	通年	アダプトプログラム環境美化活動	市内一円	5,131名	環境対策課		
	通年	個人・団体等による美化清掃活動	市内一円	607回	環境対策課		
		10月23日	「川と海のクリーン作戦」	木曾三川下流域一帯の一斉清掃	289名	アセットマネジメント課	
		11月15日	長良川流域連携クリーン作戦事業	長良川の上流域から下流域までの流域全体が連携して一斉清掃活動を実施した。	23名	環境対策課	
		4月1日	「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」	桑名市地蔵地先揖斐川右岸2KP付近河川敷	12名	環境対策課	
		4月15日		長島町白鷄地先長良川左岸2KP付近河川敷	10名		
		5月2日		長島町福吉地先長良川左岸3KP付近河川敷	11名		
		5月16日		桑名市地蔵地先揖斐川右岸2KP付近河川敷	30名		
		6月1日		長島町浦安地先長良川左岸OKP付近河川敷	32名		
		6月15日		長島町白鷄地先長良川左岸1KP付近河川敷	31名		
		7月1日		桑名市地蔵地先揖斐川右岸2KP付近河川敷	34名		
		7月15日		長島町福吉地先長良川左岸3KP付近河川敷	22名		
		8月1日		多度町大鳥居地先揖斐川左岸11KP付近河川敷	31名		
		8月19日		長島町福吉地先長良川左岸3KP付近河川敷	26名		
		9月1日		長島町白鷄地先長良川左岸1KP付近河川敷	24名		
		9月15日		桑名市地蔵地先揖斐川右岸2KP付近河川敷	30名		
		10月3日		桑名市立田町地先揖斐川右岸1KP付近河川敷	23名		
		10月17日		長島町白鷄地先長良川左岸1KP付近河川敷	19名		
		11月1日		桑名市立田町地先揖斐川右岸1KP付近河川敷	26名		
		11月15日		長島町福吉地先長良川左岸3KP付近河川敷	23名		
		12月1日		長島町白鷄地先長良川左岸1KP付近河川敷	27名		
		12月15日		桑名市上之輪新田地先揖斐・長良川中堤6～7KP付近道路及河川敷	130名		
		1月6日		長島町浦安地先長良川左岸OKP付近河川敷	26名		
		1月16日		長島町福吉地先長良川左岸3KP付近河川敷	26名		
		2月1日		長島町福吉地先長良川左岸4KP付近河川敷	20名		
		2月15日		長島町白鷄地先長良川左岸1KP付近河川敷	19名		
	3月1日	桑名市福岡町地先新堀川城南排水機場付近河川敷		24名			
	3月15日	桑名市福岡町地先新堀川城南排水機場付近河川敷		33名			
R5 (計画)		アダプトプログラム環境美化活動					環境対策課
		個人・団体等による美化清掃活動					環境対策課
		「川と海のクリーン作戦」			アセットマネジメント課		
		長良川流域連携クリーン作戦事業			環境対策課		
		「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」			環境対策課		

参考資料 いなべ市の評価指標

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針【評価項目と基準】

共通取り組み【いなべ市】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等の公共施設における「緑のカーテン」の実績 ・肥料等の配布実績 ・広報等による啓発活動の有無 	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動の両方を実施	環境政策課 管財課 教育総務課
			B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料等の配布と啓発活動のいずれかを実施	
			C	対象施設のうち5割未満が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動のいずれも未実施	
1-(2)	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減 	A	基準年度比2%以上減	管財課
			B	基準年度比1%以上2%未満削減	
			C	基準年度比1%未満の削減	
1-(3)	小学校等へのごみに関する出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座実施件数 	A	8件以上実施	環境政策課
			B	5件以上8件未満実施	
			C	5件未満実施	
2-(1)	希少動植物の調査・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察及び調査数 ・調査結果のデータベース化等報告状況 	A	自然観察及び調査を6件以上実施、かつ調査結果の取りまとめ	自然学習室
			B	自然観察及び調査を4件以上実施、または調査結果の取りまとめ	
			C	自然観察及び調査を3件以下実施、かつ調査結果が取りまとめ未実施	
2-(2)	農地の荒廃防止	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲 	A	農地面積の70%以上	農林整備課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	
3-(1)	河川の水質調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度 	A	90%以上	環境政策課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	
3-(2)	花づくり活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・花づくり運動実施団体数 	A	20団体以上実施	都市整備課
			B	15団体以上20団体未満実施	
			C	15団体未満実施	
4-(1)	環境学習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設見学会や自然学習講座の実施回数 	A	60回以上実施	あじさいクリーンセンター 自然学習室
			B	40回以上60回未満実施	
			C	40回未満実施	
4-(2)	一斉清掃活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数 	A	40回以上実施	環境政策課 環境衛生課
			B	30回以上40回未満実施	
			C	30回未満実施	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	・庁舎等の公共施設における「緑のカーテン」の実績 ・肥料等の配布実績 ・広報等による啓発活動の有無	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動の両方を実施	環境政策課 管財課 教育総務課
			B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料等の配布と啓発活動のいずれかを実施	
			C	対象施設のうち5割未満が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動のいずれも未実施	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	公共施設における「緑のカーテン」	庁舎等の対象施設において緑のカーテンを実施する。	7割以上	約2割	B
	肥料等の配布	家庭等における緑のカーテンの普及を進めるため、し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」を無償配布する。	実施	実施(5月・11月)	
	広報等による啓発活動	広報やHP等に情報掲載し普及促進を図る。	実施	実施(4月・10月号)	
5 (計画)	公共施設における「緑のカーテン」	庁舎等の対象施設において緑のカーテンを実施する。	7割以上	-	-
	肥料等の配布	家庭等における緑のカーテンの普及を進めるため、し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」を無償配布する。	実施	-	
	広報等による啓発活動	広報やHP等に情報掲載し普及促進を図る。	実施	-	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」を無償で配布することによって、実施しやすい環境づくりを進めています。令和4年度は5月12日、11月10日の2回、北勢庁舎前において計600袋を配布しました。また、広報やHPでも配布時に呼び掛けを行い、自主的な取り組みを推進しています。公共施設における「緑のカーテン」の実施は、庁舎や小中学校等のうち約2割にとどまりました。
---	--

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	他の教育施設や公共施設においても「緑のカーテン」の実施を推進していきます。住民や事業者に先駆けて行政が中心になって取り組み、し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」の配布等を継続して行うことで、「緑のカーテン」の普及啓発を図っていきます。なお、前年度の評価基準は継続します。
-----------	--

【詳細データ】

年度	実施事業	日時	事業内容	場所	実施の有無	担当課
4	公共施設における「緑のカーテン」	-	対象の公共施設において緑のカーテンを設置する。	いなべ市役所庁舎	有	教育総務課
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
		-				
4	肥料等の配布	5月12日、11月10日	し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」無償配布	北勢庁舎前駐車場	600袋	環境政策課
	広報等による啓発活動	-	肥料の無償配布について、広報とHPで周知	-	2回	環境政策課
5 (計画)	公共施設における「緑のカーテン」	-	対象の公共施設において緑のカーテンを設置する。	いなべ市役所	-	管財課
		-		各小中学校、高等学校	-	教育総務課
	肥料等の配布	-	し尿汚泥肥料「ソウインコンポ」無償配布	北勢庁舎前駐車場	600袋	環境政策課
	広報等による啓発活動	-	肥料の無償配布について、広報とHPで周知	-	2回	環境政策課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(2)	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度R3	管財課
			B	基準年度比1%以上2%未満削減	
			C	基準年度比1%未満の削減	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	公共施設に対する温室効果ガスの排出の増減	二酸化炭素排出量の削減	基準年度比2%以上減	約17%増	C
5 (計画)	公共施設に対する温室効果ガスの排出の増減	二酸化炭素排出量の削減	基準年度比2%以上減	-	-

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当無し			
5 (計画)	該当無し			

【実施内容】

4	<p>基準年度(令和3年度)のCO₂温室効果ガス排出量:6,481t-CO₂ 令和4年度のCO₂温室効果ガス排出量:7,586t-CO₂ 令和4年度の対基準年度比は約17%の増加でした。</p> <p>令和3年度と令和4年度を比較するとガスの使用料が減少しましたが、電気及びガソリンの使用量が増加しています。そのため、令和3年度と令和4年度を比較すると令和4年度の二酸化炭素の排出量が増加しています。</p> <p>庁舎等公共施設にて、照明の間引きやライトダウン運動の実施、空調温度の適正管理、再生可能エネルギーによる省エネルギー設備の導入などによって温室効果ガスの削減を図りました。</p>
---	--

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	本年度の評価項目を継続し、基準年度を定め、今後も省エネルギーの取り組み推進を図ります。
-----------	---

【詳細データ】

年度	実施事業	公共施設	CO ₂ 排出量	発電量・消費量	担当課
4	温室効果ガス削減事業	いなべ市役所 (市長部局)	7,586t-CO ₂	約17%増	管財課
年度	実施事業	公共施設	CO ₂ 排出量	増減(令和3年度比)	担当課
5 (計画)	温室効果ガス削減事業	いなべ市役所 (市長部局)	-	2%減	管財課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(3)	小学校等へのごみに関する出前講座	・出前講座実施件数	A	8件以上実施	環境政策課
			B	5件以上8件未満実施	
			C	5件未満実施	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	出前講座実施件数	小学校等にて3Rに関する出前講座を実施する。また、学校周辺のごみ集積場において、塵芥収集車を活用した収集見学に対応する。	8件以上	8件	A
5 (計画)	出前講座実施件数	小学校等にて3Rに関する出前講座を実施する。また、学校周辺のごみ集積場において、塵芥収集車を活用した収集見学に対応する。	8件以上	-	-

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	依頼があった小中学校等を対象にして、児童・生徒に塵芥収集車による分別収集を見学してもらい、職員が立ち会って意見交換を行っています。令和4年度は阿下喜・笠間・藤原・山郷・治田小学校の児童を対象に塵芥収集車の見学、阿下喜小学校、丹生川中自治会、藤原中学校においてリサイクル等に関する環境出前講座をそれぞれ実施しました。
---	---

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	ごみ処理の仕組みや役割、市内のごみ収集状況について理解を深められる環境づくりを推進していきます。また、学校が主催するイベントなど小学生が参加する機会に、職員がごみに関する情報を普及啓発し、各家庭でもごみについて関心を持ってもらえるよう取り組んでいきます。なお、前年度の評価基準は継続します。
-----------	---

【詳細データ】

年度	実施事業	実施月日	実施内容	参加人数	担当課
4	出前講座	5月2日	阿下喜小学校の4年生を対象に、ごみ集積場において塵芥収集車の見学会を行った。	22	環境政策課
		5月9日	笠間小学校の4年生を対象に、ごみ集積場において塵芥収集車の見学会を行った。	25	
		5月16日	藤原小学校の4年生を対象に、ごみ集積場において塵芥収集車の見学会を行った。	33	
		5月20日	山郷小学校の4年生を対象に、ごみ集積場において塵芥収集車の見学会を行った。	42	
		5月31日	治田小学校の4年生を対象に、ごみ集積場において塵芥収集車の見学会を行った。	21	
		7月22日	阿下喜小学校の4年生から6年生を対象に、リサイクル学習を行った。	30程度	
		8月2日	丹生川中自治会の小学生を対象に、リサイクル学習を行った。	10程度	
		1月13日	藤原中学校の3年生を対象に、環境学習を行った。	11	
5 (計画)	出前講座	計年8回	小中学校等を対象にして、環境に関する出前講座を行う。	-	環境政策課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(1)	希少動植物の調査・保護	・自然観察及び調査数 ・調査結果のデータベース化等報告状況	A	自然観察及び調査を6件以上実施、かつ調査結果が取りまとめ	自然学習室
			B	自然観察及び調査を4件以上実施、または調査結果が取りまとめ	
			C	自然観察及び調査を3件以下実施、かつ調査結果が取りまとめ未実施	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	自然観察及び調査数	一般市民を対象とした「自然教室」の開催	6件以上	21件	A
	調査結果のデータベース化等報告状況	自然教室等の報告書の作成	報告書作成	報告書作成	
5 (計画)	自然観察及び調査数	一般市民を対象とした「自然教室」の開催	6件以上	-	-
	調査結果のデータベース化等報告状況	自然教室等の報告書の作成	報告書作成	-	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	主に藤原岳周辺にて季節ごとに一般市民を対象とした「自然教室」を開催し、動植物を観察しました。令和4年度は、計21回の自然教室(参加者数570人)を開催できました。また、市内の動植物相について、分布調査や生息状況の把握を実施し、そのデータをもとに報告書として取りまとめしています。
---	---

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	令和4年度と同内容の講座となりますが、主に藤原岳周辺にて季節ごとに一般市民を対象とした「自然教室」を開催し、動植物を観察します。また、年間を通じて市内の動植物の生息状況について調査・把握し、普及啓発によって保護活動を推進します。なお、前年度の評価基準は継続します。
-----------	--

【詳細データ】

年度	実施事業	実施日	講座内容	場所	参加人数	担当課
4	自然教室	R4.4.16	「春の動植物をたずねて」と題して、藤原岳山麓を散策しながら植物、野鳥、昆虫などの生物を観察した。	藤原町	32	自然学習室
		R4.4.30	「岩石の標本をつくろう」と題して、川原で岩石を採集し、標本の作り方についても学んだ。	北勢町	43	
		R4.5.15	「ため池の生物を調べよう」と題して、屋根のない学校で水生生物(カエル、水生昆虫等)を採集し、観察した。	藤原町	31	
		R4.5.21	「初夏の動植物をたずねて」と題して、登奈井尾林道で植物、野鳥、昆虫などの生物を観察した。	北勢町	32	
		R4.5.28	「甲虫の標本をつくろう」と題して、ふるさとの森で甲虫類を採集し、標本の作り方についても学んだ。	藤原町	32	
		R4.6.4	「ホタルを見る会」と題して、ホタルの特徴や生態について学んだ後、近くの水路でホタルを観察した。	藤原町	46	
		R4.6.11	「植物標本をつくろう」と題して、ふるさとの森周辺で植物を採集し、標本の作り方についても学んだ。	藤原町	24	
		R4.6.18	「チョウの標本をつくろう」と題して、ふるさとの森でチョウ類を採集し、標本の作り方についても学んだ。	藤原町	23	
		R4.6.25	「キノコを見る会」と題して、ふるさとの森でキノコ類を観察し、特徴や名前調べ方について学んだ。	藤原町	18	
		R4.7.2	「光に集まる虫を調べよう」と題して、藤原文化センターで夜間灯りに集まる昆虫類を観察した。	藤原町	20	
		R4.7.9	「夏休みの自然研究の仕方について」と題して、採集方法や標本の作り方、自然研究の仕方について指導した。	藤原町	21	
		R4.7.16	「身近な植物を調べよう」と題して、植物の葉や枝を手元に置いて、図鑑を使って名前調べ方について学んだ。	藤原町	9	
		R4.7.23	「宇賀川の自然調べ」と題して、宇賀川に生息する生き物(魚、水生昆虫など)や河原の岩石を観察した。	大安町	40	
		R4.8.20	「標本の名前を聞く会」と題して、自由研究などで作製した標本類(植物、昆虫、クモなど)の名前を調べた。	藤原町	26	
		R4.9.24	「いなべ公園の自然観察」と題して、公園内を散策しながら植物、野鳥、昆虫などの生物を観察した。	員弁町	25	
		R4.10.22	「秋の動植物をたずねて」と題して、藤原岳山麓を散策しながら植物、野鳥、昆虫などの生物を観察した。	藤原町	24	
		R4.11.5	「クモを調べる会」と題して、ふるさとの森でクモ類を採集し、顕微鏡で観察して特徴や名前調べ方について学んだ。	藤原町	16	
		R4.12.10	「冬の野鳥を見る会」と題して、両ヶ池周辺でカモ類などの水鳥や小鳥類などを観察した。	大安町	26	
		R5.1.21	「冬の自然観察」と題して、哺乳類の痕跡(足跡やフン)や植物の冬芽の様子などを観察した。	藤原町	27	
R5.2.25	「冬の星空を見よう」と題して、冬の星座について学び、藤原文化センターで月、星雲、星団などを観察した。	藤原町	31			
R5.3.18	「早春の花を見る会」と題して、藤原岳山麓を散策しながら早春に咲く花を観察した。	藤原町	24			
5(計画)	自然教室		令和4年度と同内容	市内		自然学習室

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(2)	農地の荒廃防止	・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	農林整備課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	多面的機能支払交付金に係る活動範囲	農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動を行う。 水路、農道、ため池の軽微な補修や植栽による景観形成、施設の長寿命化等の地域資源の質的向上を行う。	農地面積の70%以上	農地面積の65%	B
5 (計画)	多面的機能支払交付金に係る活動範囲	農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動を行う。 水路、農道、ため池の軽微な補修や植栽による景観形成、施設の長寿命化等の地域資源の質的向上を行う。	農地面積の70%以上	-	-

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動や、水路、農道、ため池の軽微な補修や植栽による景観形成、施設の長寿命化等の地域資源の質的向上を多面的機能支払い交付金事業を活用して実施しました。
---	---

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動や、水路、農道、ため池の軽微な補修や植栽による景観形成、施設の長寿命化等の地域資源の質的向上を行う。
-----------	---

【詳細データ】

年度	実施事業	農地面積	事業面積	割合	担当課
4	多面的機能支払交付金の活用	2247ha	1451ha	65%	農林整備課
5 (計画)	多面的機能支払交付金の活用	2247ha	1572ha	70%	農林整備課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(1)	河川の水質調査の実施	・環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	環境政策課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	河川の水質調査項目における環境基準達成度	対象となる市内の河川水について調査する。 水質を分析した結果が環境基準を満たしているか調査する。	90%	97.0%	A
5 (計画)	河川の水質調査項目における環境基準達成度	対象となる市内の河川水について調査する。 水質を分析した結果が環境基準を満たしているか調査する。	90%	-	-

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	夏季と冬季の年2回(8月と2月)に、対象の河川8地点において水質調査を行い、水素イオン濃度(pH)・生物化学的酸素要求量(BOD)・浮遊物質(SS)・溶存酸素量(DO)・大腸菌数の各項目について環境基準を達成できているか調査を実施しました。令和4年度は8箇所での調査地点のうち、環境基準が設定されている員弁川3箇所での基準達成率は97%でした。
---	--

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	自然発生的な要因も考慮して、今後も河川8地点においては測定を継続し、環境基準達成率90%を目標に水質保全に努めます。なお、前年度の評価基準は継続します。
-----------	--

【詳細データ】

年度	対象	地点数	地点当たり調査回数	項目数	調査項目	環境基準達成率(%)	担当課
4	大脇谷川	各1ヶ所	2	5	水素イオン濃度(pH) 生物化学的酸素要求量(BOD) 浮遊物質(SS) 溶存酸素量(DO) 大腸菌数	90.0%	環境政策課
	員弁川(北勢大橋)					100.0%	
	戸上川					100.0%	
	宇賀川					100.0%	
	員弁川(最下流)					90.0%	
	山神川					100.0%	
	員弁川(最上流)					100.0%	
	相場川					90.0%	
5 (計画)	大脇谷川	各1ヶ所	2	5	水素イオン濃度(pH) 生物化学的酸素要求量(BOD) 浮遊物質(SS) 溶存酸素量(DO) 大腸菌数	90.0%	環境政策課
	員弁川(北勢大橋)						
	戸上川						
	宇賀川						
	員弁川(最下流)						
	山神川						
	員弁川(最上流)						
	相場川						

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(2)	花づくり活動の実施	・花づくり運動実施団体数	A	20団体以上実施	都市整備課
			B	15団体以上20団体未満実施	
			C	15団体未満実施	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	花づくり運動実施団体数	希望する団体へ苗等の費用を助成し、花づくり運動を推進する。	20団体以上	19団体	B
5 (計画)	花づくり運動実施団体数	希望する団体へ苗等の費用を助成し、花づくり運動を推進する。	20団体以上	-	-

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	花づくり運動の経費の一部を助成することにより、潤いとやすらぎに満ちたまちづくり、花とみどりあふれる快適な生活環境づくりを推進しています。地域の公園、広場、集会施設、主要道路付近等公共性の高い場所への花づくり運動を対象にしており、令和4年度は計19団体へ合わせて約53万円を助成しました。
---	---

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	今後も市内の自治会や市民で構成される団体で、花づくりに必要な種代や肥料代等の費用の一部を助成し、花づくりを実施しやすい環境づくりを推進します。そして、住民や訪問者に潤いや安らぎを与えられるよう、地域住民が中心となった花づくり運動に取り組んでいきます。なお、前年度の評価基準は継続します。
-----------	---

【詳細データ】

年度	実施事業	団体名	設置場所	補助金額	担当課
4	花づくり運動助成事業	小原一色老人クラブ	桜公園花壇	30,000	都市整備課
		小原一色自治会	桜公園北側	30,000	
		小原一色農家組合		30,000	
		西方老人クラブ	春日神社前等	30,000	
		大泉自治会	大泉区内	30,000	
		石仏ヘルシークラブ	石仏公民館前と防火用水周辺	30,000	
		笠田東 花づくり	員弁町笠田新田475番地3	9,358	
		岡丁田老人会	岡丁田集落センター前等	30,000	
		北金井自治会	員弁町北金井908番地	30,000	
		石樽下自治会		30,000	
		一色子供会		20,000	
		丹生川上老人クラブ		28,000	
		若竹老人会	中央公民館前の花壇	30,000	
		石樽北山老人会	石樽北山集会所前花壇	29,222	
		石樽の里コミュニティ	石樽小学校南側花壇	30,000	
		南金井福寿会老人クラブ	南金井集落センター、中尾公園花壇	30,000	
		大貝戸地区を守る会		30,000	
		石川自治会		30,000	
		西野尻自治会		30,000	
		5 (計画)	花づくり運動助成事業	計20団体以上	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(1)	環境学習会の開催	・ごみ処理施設見学会や自然学習講座の実施回数	A	60回以上実施	あじさいクリーンセンター 自然学習室
			B	40回以上60回未満実施	
			C	40回未満実施	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	ごみ処理施設見学会の回数	あじさいクリーンセンターの役割等概要について、施設内を見学しながら説明する。	10回	ごみ処理施設見学会11回 自然学習講座46回 計57回	B
	自然学習講座の回数	自然を体感できる活動や地域の歴史・文化にふれる活動ができる講座を開設する。	50回		
5 (計画)	環境関連施設等の見学会の回数	環境関連施設の役割等概要について、施設内を見学しながら説明する。	10回	計60回以上	-
	自然学習講座の回数	自然を体感できる活動や地域の歴史・文化にふれる活動ができる講座を開設する。	50回		

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	あじさいクリーンセンターの役割及び前年度の処理実績の概要について、スライドショーとビデオを使用しながら説明し、施設内主要設備等の現場見学を行っていただきました。令和4年度は、当センターに市内8校から小学生と教員合わせて238人が社会見学に訪れました。その他、依頼があった3団体に向けて施設見学会を実施し計26人の参加がありました。また、地域の方を先生に迎えた自然学習講座を開設し、令和4年度は全9講座46回、計538人の参加がありました。
---	---

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	自然を体感できる活動、地域の歴史・文化にふれる活動や施設の見学等、子供の頃から環境問題について考える機会を多く提供することで、五感を育み感性豊かな子どもの育成に取り組めます。今後、ごみ処理施設以外の環境関連施設での見学会の実施を見据え、評価項目を環境関連施設等の見学会や自然学習講座の実施回数へ変更します。なお前年度の評価基準は継続して、講座や見学会の安定的な開催を目指します。
-----------	---

【詳細データ】

年度	実施事業	実施日	対象者	参加人数	担当課
4	ごみ処理施設見学会	5/19	議会広報委員会	5人	あじさいクリーンセンター
		5/31	阿下喜小学校	24人	
		6/1	藤原小学校	41人	
		6/10	笠間小学校	28人	
		6/17	山郷小学校	45人	
		6/23	十社小学校	18人	
		7/12	治田小学校	24人	
		9/13	丹生川小学校	28人	
		9/21	三重県シルバー人材センター連合会	15人	
		10/20	いなべこども活動支援センター「こども記者くらぶ」	6人	
	11/1	員弁東小学校	30人		
	自然学習講座	年8回	びっくり生きものアラカルト	86人	自然学習室
		年8回	昆虫と遊ぼう	126人	
		年9回	人びとのいのちとくらしを守る植物	38人	
		年7回	田んぼと畑の学校	87人	
		年7回	自然いっぱいのおそびにCLG	80人	
		年2回	川で遊ぼう！	55人	
		年2回	親子工作教室	30人	
年1回		カメラやスマホで写真撮影	4人		
年2回	合同講座	32人			
5 (計画)	ごみ処理施設見学会	年10回	小中学校等計10校	-	環境衛生課 あじさいクリーンセンター
	自然学習講座	年50回	子供たちを中心とした希望者全員	-	自然学習室

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(2)	一斉清掃活動の実施	各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数	A	40回以上実施	環境政策課 環境衛生課
			B	30回以上40回未満実施	
			C	30回未満実施	

【入力事項】

年度	評価項目	実施内容	目標・予定	実績	評価
4	各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数	自治会や事業者、その他地域の団体等が中心になって地域の美化清掃活動に取り組み、ごみの搬入や活動の周知に協力する。	40回以上	33回	B
5 (計画)	各種団体等が実施する一斉清掃活動の回数	自治会や事業者、その他地域の団体等が中心になって地域の美化清掃活動に取り組み、ごみの搬入や活動の周知に協力する。	40回以上	-	-

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【実施内容】

4	自治会や事業者、その他地域の団体等が中心になって、市内の道路・公園・集会所等の美化清掃活動に取り組んでいます。現在、ごみ袋を市から無償提供しており、申請団体の数で実施団体を把握しています。令和4年度は、年度を通して 33回の清掃活動が行われ、延べ3840人以上の参加がありました。
---	--

【今後の取り組み方針】

5 (計画)	地域の環境美化は、自治会や事業者等の地域団体による協力が不可欠です。今後ごみの受入体制を整え、ごみ袋の無償提供等を実施することで積極的な清掃活動への参加を推進します。なお、前年度の評価基準は継続します。
-----------	---

【詳細データ】

年度	実施団体	実施予定日	活動地域	袋提供数(もえるごみ)	袋提供数(もえないごみ)	参加人数(おおよそ)	担当課
4	昭電自治会		自治会集積場	20枚			環境政策課 環境衛生課
	(株)デンソー	R4.6.18	デンソー周辺	40枚	20枚	110人	
	鼓自治会	R4.6.19	自治会区域	40枚		30人	
	笠田東自治会	R4.5.22、R4.7.23、 R4.9.11	自治会区域	60枚		60人	
	東町2自治会		自治会集積場	40枚			
	いなべ市ボランティア連絡協議会	R4.6.25	大安公民館周辺		40枚	20人	
	出口自治会		自治会集積場	100枚			
	阿下喜自治会	R4.8.7	自治会区域	700枚		700人	
	大泉新田老人会	R4.7.17	自治会区域	100枚		90人	
	石仏自治会	R4.7.31	自治会区域	60枚		100人	
	中山自治会	R4.8.7	自治会区域	20枚		101人	
	麻生田連合	R4.7.31	麻生田、麻野、六石地区	340枚	340枚	300人	
	麓村自治会	R4.9.4	自治会区域	100枚	20枚	100人	
	いなべ市民クラブ	R4.9.10	阿下喜駅付近	20枚	20枚	20人	
	大泉自治会	R4.10.9	自治会区域	80枚	40枚	120人	
	いなべ市育成市民会議	R4.9.17	青川周辺	60枚	20枚	100人	
	いなべ市ボランティア連絡協議会	R4.11.5	大安公民館周辺		40枚	30人	
	赤神3自治会		自治会集積場		100枚		
	楚原自治会	R4.10.23	自治会区域	140枚	40枚	160人	
	東貝野自治会	R4.10.23	自治会区域		20枚	106人	
	いなべ市青少年育成市民会	R4.10.23	藤原町内		1,200枚	1,200人	
	本町自治会	R4.10.11	自治会集積場	40枚			
	平野新田自治会	R4.11.6	自治会区域	60枚		30人	
	中山自治会(老人会)	R4.10.16	自治会区域	20枚		30人	
	垣内自治会(老人会)	R4.10.23	自治会区域	60枚	20枚	63人	
	畑新田自治会	R4.11.15	自治会区域	60枚		60人	
	いなべ市育成市民会議	R4.11.13	市役所周辺	20枚	20枚	20人	
	鼓自治会	R5.6.18	自治会区域	40枚	20枚	30人	
	大安パレーボールスポーツ少年団	R5.1.28	大安町地内	1枚	20枚	50人	
	麻生田連合自治会	R5.3.5	自治会区域	180枚		50人	
楚原自治会	R5.4.9	自治会区域	140枚		150人		
赤神3自治会	R5.6.18	自治会区域	60枚		10人		
北町3自治会		自治会集積場	60枚				
5 (計画)	計40回以上の活動	-	市内の公共施設(道路・公園・集会所・ごみ集積場等)	-	-	-	環境政策課 環境衛生課

参考資料 木曾岬町の評価指標

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針【評価項目と基準】

共通取り組み【木曾岬町】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	・公共施設における「緑のカーテン」の実施 ・町民に対しグリーンカーテン用苗木およびし尿汚泥肥料「ソウインコンポ」無料配布の実施	A	両方実施	住民課
			B	1つ実施	
			C	いずれも未実施	
1-(2)	町役場における省資源・省エネルギーの推進	・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度R2	住民課
			B	基準年度比1%以上2%未満削減	
			C	基準年度比1%未満の削減	
1-(3)	小学校等へのごみに関する出前講座	・木曾岬小学校への出前講座実施件数	A	2件以上実施	教育委員会 住民課
			B	1件実施	
			C	未実施	
2-(1)	希少動植物の調査・保護	・希少動植物の調査実施回数	A	陸生動物調査 6回以上実施	三重県/ 総務政策課
			B	陸生動物調査 2回以上5回以下実施	
			C	陸生動物調査 1回以下実施	
2-(2)	農地の荒廃防止	・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	
3-(1)	河川の水質向上	・水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	三重県/ 産業課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	
3-(2)	花づくり活動の実施	・青少年育成町民会議による花いっぱい運動における花苗の配付施設数	A	延べ10施設以上に配布	教育委員会/ 青少年育成町 民会議
			B	延べ8施設以上10施設未満に配布	
			C	延べ8施設未満に配付	
4-(1)	環境学習会の開催	・小学生を対象にした環境関連施設等の見学会の実施 ・町の小中学校に赴任した先生を対象に環境関連施設等の見学会の実施	A	両方実施	教育委員会
			B	いずれかを実施	
			C	いずれも未実施	
4-(2)	一斉清掃活動の実施	・年2回の一斉清掃を全自治会に参加呼びかけ	A	2回実施	住民課
			B	1回実施	
			C	未実施	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	・公共施設における「緑のカーテン」の実施 ・町民に対しグリーンカーテン用苗木および尿汚泥肥料「ソウインコンポ」無料配布の実施	A	両方実施	住民課
			B	1つ実施	
			C	いずれも未実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
4	庁舎でのグリーンカーテンの実施	福祉教育センターでゴーヤによるグリーンカーテンを実施	1ヶ所実施	1ヶ所実施
	グリーンカーテン用花苗等の配布	1人5鉢を上限にゴーヤの苗及び有機肥料ソウインコンポを無料配布	ゴーヤ1,000鉢配布 ソウインコンポ200袋配布	ゴーヤ1,000鉢配布 ソウインコンポ200袋配布
5 (計画)	庁舎でのグリーンカーテンの実施	福祉教育センターでゴーヤによるグリーンカーテンを実施	1ヶ所実施	
	グリーンカーテン用花苗等の配布	1人5鉢を上限にゴーヤの苗及び有機肥料ソウインコンポを無料配布	ゴーヤ1,000鉢配布 ソウインコンポ200袋配布	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4				
5 (計画)				

【コメントなど】

4	グリーンカーテン用花苗と有機肥料「ソウインコンポ」を同日に無料配布した。 また、庁舎においてもゴーヤによるグリーンカーテンを実施して積極的に取り組んでいることをアピールした。
5 (計画)	グリーンカーテン用花苗と有機肥料「ソウインコンポ」を同日に無料配布する。 また、庁舎においてもゴーヤによるグリーンカーテンを実施して積極的に取り組んでいることをアピールする。

【データ】

年度	事業名	実施日	内容	場所	数	担当課
4	庁舎でのグリーンカーテンの実施	5月中旬	庁舎でゴーヤによるグリーンカーテンを実施して町として積極的に取り組んでいることをアピールする	福祉教育センター	1ヶ所実施	住民課
	グリーンカーテン花苗配布	5月8日	ゴーヤ苗を1人6鉢を上限に配布	役場行政棟玄関前	1,000株	
	グリーンカーテン用肥料の配布	5月8日	有機肥料「ソウインコンポ」を希望者に配布	役場行政棟玄関前	200袋	
5 (計画)	庁舎でのグリーンカーテンの実施	5月中旬	庁舎でゴーヤによるグリーンカーテンを実施して町として積極的に取り組んでいることをアピールする	福祉教育センター	1ヶ所実施	住民課
	グリーンカーテン花苗配布	5月14日	ゴーヤ苗を1人5鉢を上限に配布	役場行政棟玄関前	1,000株	
	グリーンカーテン用肥料の配布	5月14日	有機肥料「ソウインコンポ」を希望者に配布	役場行政棟玄関前	200袋	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(2)	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減 ※基準年度R1	住民課
			B	基準年度比1%以上2%未満削減	
			C	基準年度比1%未満の削減	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
4	二酸化炭素排出量の削減	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	基準年度比2%以上減	基準年度比 8.2%増
5 (計画)	二酸化炭素排出量の削減	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	基準年度比2%以上減	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4				
5 (計画)				

【コメントなど】

4	評価項目の見直しに伴い、省エネルギーの取り組み推進を図ります。
5 (計画)	評価項目の見直しに伴い、省エネルギーの取り組み推進を図ります。

【データ】

年度	事業名	内容	排出量(kg)	担当課
4	二酸化炭素排出量の削減	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	252,476	住民課
5 (計画)	二酸化炭素排出量の削減	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減		住民課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(3)	小学校等へのごみに関する 出前講座	・木曾岬小学校へ の出前講座実施件数	A	2件以上実施	教育委員会/ 住民課
			B	1件実施	
			C	未実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
4	出前講座の推進	木曾岬小学校4年生を対象に町のごみ処理の現状について町職員による出前講座を行った。また実際の集積場において収集車への積み込み状況の見学会もあわせて実施した。	1回以上実施	1回実施
5 (計画)	出前講座の推進	木曾岬小学校4年生を対象に町のごみ処理の現状について町職員による出前講座を行った。また実際の集積場において収集車への積み込み状況の見学会もあわせて実施する。	1回以上実施	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4				
5 (計画)				

【コメントなど】

4	学校の先生ではなく町職員やごみ収集に携わる職員から説明や質問をすることで授業とは違った現場の声を聴くことができ、子ども達には貴重な学習の機会となっている。
5 (計画)	学校の先生ではなく町職員やごみ収集に携わる職員から説明や質問をすることで授業とは違った現場の声を聴くことができ、子ども達には貴重な学習の機会とする。

【データ】

年度	実施事業	実施日	実施内容	参加人数	担当課
4	木曾岬小学校へ の出前講座	7月7日	町職員によるごみ処理の説明及び収集車 の見学会等を実施	4年生(33人)	住民課
5 (計画)	木曾岬小学校へ の出前講座	6月上旬	町職員によるごみ処理の説明及び収集車 の見学会等を実施	4年生(34人)	住民課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(1)	希少動植物の調査・保護	・希少動植物の調査実施回数	A	陸生動物調査 6回以上実施	三重県/ 総務政策課
			B	陸生動物調査 2回以上5回以下実施	
			C	陸生動物調査 1回以下実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
4	木曾岬干拓地整備事業 モニタリング	陸生動物「チュウヒ・オオタカ」の繁殖状況調査を	4月～8月に2日連続で各月1	4月～8月まで各月1回(計5
5	木曾岬干拓地整備事業 モニタリング	陸生動物「チュウヒ・オオタカ」の繁殖状況調査を行	4月～8月に2日連続で各月1	4月～8月まで各月1回(計5

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	該当なし			
5 (計画)	該当なし			

【コメントなど】

4	木曾岬干拓地における野生動植物については、県有地であることから三重県において調査を実施していただいた。今後も野生動植物の生息状況につい
5	木曾岬干拓地における野生動植物については、県有地であることから三重県において調査を実施していただいている。今後も野生動植物の生息状況に

【データ】

年度	実施事業	調査項目	調査概要	調査回数	担当課
4	木曾岬干拓地整備事業 環境モニタリング調査	チュウヒ・オオタカ	陸生動物「チュウヒ・オオタカ」の繁殖状況調査	5回(計画)	三重県/ 総務政策課
5 (計画)	木曾岬干拓地整備事業 環境モニタリング調査	チュウヒ・オオタカ	陸生動物「チュウヒ・オオタカ」の繁殖状況調査	5回(計画)	三重県/ 総務政策課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(2)	農地の荒廃防止	・多面的機能支払交付金事業に係る活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
4	農地維持活動	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈り、水路等の施設点検作業を通じて農地の維持管理を行った	16団体 40,500a	40,500a/52,264a =77%
	資源向上活動	農業用水路の補修、景観形成・生活環境保全、農村環境実践活動の生態系保全(生息状況の把握)を行った	16団体 40,500a	40,500a/52,264a =77%
5 (計画)	農地維持活動	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈り、水路等の施設点検作業を通じて農地の維持管理を行う	16団体 40,500a	
	資源向上活動	農業用水路の補修、景観形成・生活環境保全、農村環境実践活動の生態系保全(生息状況の把握)を行う	16団体 40,500a	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4		該当なし		
5 (計画)		該当なし		

【コメントなど】

4	町内16団体が参加し、農地維持活動として農業用水路の泥上げや農用地・水路・農道の草刈りを実施した。また資源向上活動として農業用水路の軽微な補修のほか、景観形成活動として花の植栽活動を実施した。
5 (計画)	町内16団体に参加していただき、農地維持活動として農業用水路の泥上げや農用地・水路・農道の草刈りを実施する予定。また資源向上活動として農業用水路の軽微な補修のほか、景観形成活動として花の植栽活動を実施する予定。

【データ】

年度	実施事業	実施場所	実施日	参加人数	担当課
4	生物の生息状況の把握	源緑地区ほか	7~9月頃	多数	産業課
	水路法面の初期補修・破損施設の補修	外平喜地区ほか	随時	多数	
	水路の泥上げ	三崎地区ほか	9月~3月	多数	
	路肩・法面の草刈	加路戸地区ほか	随時	多数	
	景観形成活動(花の植栽)	下藤里ほか	5月~7月	多数	
	施設の点検(水路・農道)	全域	随時	多数	
5 (計画)	生物の生息状況の把握	見入地区ほか	7~9月頃	多数	産業課
	水路法面の初期補修・破損施設の補修	源緑地区ほか	随時	多数	
	水路の泥上げ	西対海地地区ほか	9月~3月	多数	
	路肩・法面の草刈	中和泉地区ほか	随時	多数	
	景観形成活動(花の植栽)	下藤里ほか	5月~7月	多数	
	施設の点検(水路・農道)	全域	随時	多数	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(1)	河川の水質調査の実施	・水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	産業課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	地点(目標・予定)	地点(実績)	担当課
4	中央幹線排水路水質調査	排水路内3地点で水質調査を実施	調査3地点	達成0地点	産業課
5 (計画)	中央幹線排水路水質調査	排水路内3地点で水質調査を実施	調査3地点		産業課

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4	新規	中央幹線排水路水質調査	排水路内3地点で水質調査を実施	産業課
5 (計画)				

【コメントなど】

4	中央幹線排水路について3地点でpH、BOD、COD、DO、SS、T-N、T-Pの水質状況を調査した。中央幹線排水路は、環境基準の適用がないため、独自目標とする水質基準で評価を行った。水質浄化施設について、4月1日～8月15日はポンプを停止させ、8月16日～3月31日は常時ポンプを自動運転させた。
5 (計画)	中央幹線排水路について3地点でpH、BOD、COD、DO、SS、T-N、T-Pの水質状況を調査する予定である。

【データ】

年度	調査位置	調査時期	調査項目	担当課
4	【中央幹線排水路】	7月頃 1月頃		産業課
	除塩用水下流の橋		pH、BOD、COD、DO、SS、T-N、T-P	
	JA前の橋		〃	
	トマッピー橋		〃	
5 (計画)	【中央幹線排水路】	7月頃 1月頃		産業課
	除塩用水下流の橋		pH、BOD、COD、DO、SS、T-N、T-P	
	JA前の橋		〃	
	トマッピー橋		〃	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(2)	花づくり活動の実施	・青少年育成町民会議による花いっぱい運動における花苗の配付施設数	A	延べ10施設以上に配布	教育委員会/青少年育成町民会議
			B	延べ8施設以上10施設未満に配布	
			C	延べ8施設未満に配付	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
4	花いっぱい運動の実施	公共施設へ季節の花を配布し、景観保全に努めた	延べ10施設以上に配布	延べ10施設に配布
5 (計画)	花いっぱい運動の実施	公共施設へ季節の花を配布し、景観保全に努める	延べ10施設以上に配布予定	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4		該当なし		
5 (計画)		該当なし		

【コメントなど】

4	町内の公共施設(北部公民館、小学校、中学校、こども園、ふれあいの里)に季節の花苗を配付して景観保全に努めた。
5 (計画)	町内の公共施設(北部公民館、小学校、中学校、こども園、ふれあいの里)に季節の花苗を配付して景観保全に努める。

【データ】

年度	事業名	配付時期	配付先	花苗の種類	担当課
4	花いっぱい運動の実施	6月	北部公民館	コリウス×1ケース	教育委員会/青少年育成町民会議
		6月	木曾岬小学校	ペンタス、日日草、アンゲロニア 各8ケース 千日紅、松葉ボタン 各3ケース	
		6月	木曾岬中学校	ペンタス×10ケース 日日草×14ケース コリウス×4ケース アンゲロニア×5ケース 千日紅×2ケース	
		6月	こども園	ペンタス、日日草、コリウス、松葉ボタン、千日紅 各1ケース	
		6月	ふれあいの里	ペンタス×3ケース 千日紅×1ケース 日日草、コリウス、アンゲロニア 各2ケース	
	花いっぱい運動	11月	北部公民館	ビオラ、ネメシア 各1ケース	教育委員会/青少年育成町民会議
		11月	木曾岬小学校	ビオラ×20ケース ネメシア、アリッサム×各3ケース キンギョソウ×4ケース	
		11月	木曾岬中学校	パンジー、キンギョソウ 各5ケース ビオラ×32ケース アリッサム×4ケース	
		11月	こども園	パンジー、ビオラ 各5ケース ネメシア、アリッサム 各1ケース	
		11月	ふれあいの里	ビオラ×6ケース ネメシア、キンギョソウ 各2ケース パンジー×1ケース	
5 (計画)	花いっぱい運動	6月	町内の公共施設(北部公民館、小学校、中学校、こども園、ふれあいの里)に配付予定	ペゴニア、日日草、コリウス、松葉ボタン、千日紅	教育委員会/青少年育成町民会議
	花いっぱい運動	11月	町内の公共施設(北部公民館、小学校、中学校、こども園、ふれあいの里)に配付予定	パンジー、ビオラ、ネメシア、アリッサム	教育委員会/青少年育成町民会議

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(1)	環境学習会の開催	・小学生を対象にした環境関連施設等の見学会の実施 ・町の小中学校に赴任した先生を対象に環境関連施設等の見学会の実施	A	両方実施	教育委員会
			B	いずれかを実施	
			C	いずれも未実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数 (目標・予定)	回数・件数 (実績)
4	新任教員への研修	町の小中学校に赴任した先生を対象に木曾岬干拓地内「メガソーラー発電所」を見学	1	0
	小学生による環境関連施設の見学	4年生を対象にごみ処理施設「リサイクルの森」の見学	1	1
	"	3年生を対象に木曾岬干拓地内におけるメガソーラー発電所の見学	1	1
5 (計画)	新任教員への研修	町の小中学校に赴任した先生を対象に木曾岬干拓地内「メガソーラー発電所」を見学	1	
	小学生による環境関連施設の見学	4年生を対象にごみ処理施設「リサイクルの森」の見学	1	
	"	3年生を対象に木曾岬干拓地内におけるメガソーラー発電所の見学	1	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・ 廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4		該当なし		
5 (計画)		該当なし		

【コメントなど】

4	環境学習として木曾岬小学校4年生を対象にごみ処理施設「リサイクルの森」の見学会を、3年生は町内の「メガソーラー発電所」の見学会を実施した。
5 (計画)	町の小中学校に赴任した先生を対象に木曾岬干拓地内の「メガソーラー発電所」を見学する予定である。また木曾岬小学校4年生を対象にごみ処理施設「リサイクルの森」の見学会を、3年生は干拓地内の「メガソーラー発電所」の見学会などの環境学習を実施する予定である。

【データ】

年度	実施事業	実施時期	実施内容	実施回数	担当課
4	新任教員への研修	-	町の小中学校に赴任した先生を対象に木曾岬干拓地内の「メガソーラー発電所」を見学予定であったがコロナのため中止した	0	教育委員会
	小学生による環境関連施設の見学	11月24日	社会見学として木曾岬小学校4年生を対象に桑名市にあるごみ処理施設「リサイクルの森」を見学した	1	"
	"	10月31日	社会見学として木曾岬小学校3年生を対象に木曾岬干拓地内の「メガソーラー発電所」を見学した	1	"
5 (計画)	新任教員への研修	8月頃	町の小中学校に赴任した先生を対象に木曾岬干拓地内の「メガソーラー発電所」を見学する	1	教育委員会
	小学生による環境関連施設の見学	検討中	木曾岬小学校4年生を対象に桑名市にあるごみ処理施設「リサイクルの森」を見学する	1	"
	"	検討中	木曾岬小学校3年生を対象に木曾岬干拓地内「メガソーラー発電所」を見学する	1	"

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(2)	一斉清掃活動の実施	・年2回の一斉清掃を全自治会に参加呼びかけ	A	2回実施	住民課
			B	1回実施	
			C	未実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
4	町内一斉清掃の実施	全自治会に対して清掃活動への参加呼びかけ	2回実施	2回実施
5 (計画)	町内一斉清掃の実施	全自治会に対して清掃活動への参加呼びかけ	2回実施	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
4				
5 (計画)				

【コメントなど】

4	6月と12月の第1日曜日を町内一斉清掃の日と定め、全自治会に対して参加を呼び掛けたが、6月については新型コロナウイルスの感染拡大による影響から中止となった。また、ごみ袋や衛生散布剤等必要な物品を支給するなど物品支援を行い、町内の環境美化活動の支援を行った。
5 (計画)	6月と12月の第1日曜日を町内一斉清掃の日と定め、全自治会に対して参加を呼び掛ける。また、ごみ袋や衛生散布剤等必要な物品を支給するなど物品支援を行い、町内の環境美化活動の支援を行う予定である。

【データ】

年度	実施事業	実施日時	実施内容	参加人数	担当課
4	町内一斉清掃	6月5日	全自治会へ参加を呼び掛けるとともに物品支援を実施	全自治会	住民課
		12月4日	"	"	
5 (計画)	町内一斉清掃	6月4日	全自治会へ参加を呼び掛けるとともに物品支援を実施	全自治会	住民課
		12月3日	"	"	

参考資料 東員町の評価指標

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針【評価項目と基準】

共通取り組み【東員町】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	・庁舎等公共施設における「緑のカーテン」実施実績 ・肥料等の配布実績 ・広報、ホームページ等による啓発活動の有無	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動の両方を実施	総務課 みらい環境課 教育総務課 社会教育課
			B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料等の配布と啓発活動のいずれかを実施	
			C	対象施設のうち実施が5割未満、または肥料等の配布と啓発活動のいずれも未実施	
1-(2)	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	・庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減	みらい環境課
			B	基準年度比1%以上2%未満削減	
			C	基準年度比1%未満の削減	
1-(3)	小学校等へのごみに関する出前講座	・町職員によるごみに関する出前講座実施件数	A	5件以上実施	みらい環境課
			B	3件以上5件未満実施	
			C	3件未満実施	
2-(1)	希少動植物の調査・保護	・自然環境学習における希少動植物の観察	A	環境学習及び自然観察会を6回以上実施	社会教育課
			B	環境学習及び自然観察会を3回以上実施	
			C	環境学習及び自然観察会を1回以下実施	
2-(2)	農地の荒廃防止	・多面的機能支払交付金事業にかかる活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	
3-(1)	河川の水質調査の実施	・環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	みらい環境課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	
3-(2)	花づくり活動の実施	・花いっぱい運動の参加団体数	A	20団体以上	建設課
			B	10団体以上20団体未満	
			C	10団体未満	
4-(1)	環境学習会の開催	・ごみ減量等に関する学習会実施回数 ・小学生や自治会を対象にした環境関連施設等での環境学習の実施回数 ・自然観察会等実施回数	A	10回以上実施	みらい環境課 社会教育課
			B	5回以上10回未満実施	
			C	5回未満実施	
4-(2)	一斉清掃活動の実施	・環境美化活動、清掃活動の実施回数	A	50回以上実施	みらい環境課
			B	35回以上50回未満実施	
			C	35回未満実施	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(1)	緑のカーテンの推進	・庁舎等公共施設における「緑のカーテン」実施実績 ・肥料等の配布実績 ・広報、ホームページ等による啓発活動の有無	A	対象施設のうち7割以上が実施、かつ肥料等の配布と啓発活動の両方を実施	総務課 みらい環境課 教育総務課 社会教育課
			B	対象施設のうち5割以上が実施、または肥料等の配布と啓発活動のいずれかを実施	
			C	対象施設のうち実施が5割未満、または肥料等の配布と啓発活動のいずれも未実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	庁舎等公共施設における「緑のカーテン」	庁舎等の公共施設において緑のカーテンを実施する。	7割以上	9実施/17施設中(53%)
	肥料等の配布	家庭等における緑のカーテン普及を促進するため、し尿汚泥堆肥「ソウインコンポ」及びゴーヤの種子を無償配布する。	実施	中止
	広報、ホームページ等による啓発活動	広報やホームページ等での啓発を実施する。	実施	実施
翌年(計画)	庁舎等公共施設における「緑のカーテン」	庁舎等の公共施設において緑のカーテンを実施する。	7割以上	
	肥料等の配布	家庭等における緑のカーテン普及を促進するため、肥料となるし尿汚泥堆肥「ソウインコンポ」を無償配布する。	実施	
	広報、ホームページ等による啓発活動	広報やホームページ等での啓発を実施する。	実施	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4		該当なし		
翌年(計画)		該当なし		

【コメントなど】

R4	未実施施設においては、グリーンカーテン以外で遮熱する代替品「よしず」「遮熱シート」で代用しており、光熱水費の削減努力を行いました。
翌年(計画)	前年同様、計画とおりの実施を目標とする。

【データ】

年度	実施事業	実施日	事業内容	場所	実施の有無	担当課			
R4	庁舎等公共施設における「緑のカーテン」	夏季	対象施設において「緑のカーテン」を設置する。	東員町役場庁舎	有	総務課			
				笹尾連絡所	無				
				総合文化センター	有	社会教育課			
				神田幼稚園・東員保育園	有				
				稲部幼稚園・いなべ保育園	有				
				三和幼稚園・みなみ保育園	有				
				笹尾西幼稚園・第一保育園	有				
				笹尾東幼稚園・第二保育園	有				
				城山幼稚園・しろやま保育園	有				
				神田小学校	有				
				稲部小学校	無				
				三和小学校	無				
				笹尾西小学校	無				
				笹尾東小学校	無				
				城山小学校	無				
東員第一中学校	無								
東員第二中学校	無								
R4	肥料等の配布	中止	家庭等における緑のカーテン普及を促進するため、し尿汚泥堆肥「ソウインコンポ」を無償配布する。	東員町スポーツ公園陸上競技場・役場庁舎・連絡所	無	みらい環境課			
				広報、ホームページ等による啓発活動	通年	広報やホームページ等での啓発を実施する。	広報、ホームページ等による啓発活動の有無	有	みらい環境課
翌年(計画)	庁舎等公共施設における「緑のカーテン」	夏季	対象施設において「緑のカーテン」を設置する。	庁舎・連絡所・文化センター		総務課 社会教育課			
				各小中学校		教育総務課			
				各幼稚園・保育園					
	肥料・種子等の配布	11月	家庭等における緑のカーテン普及を促進するため、し尿汚泥堆肥「ソウインコンポ」を無償配布する。	東員町資源ごみストックヤード		みらい環境課			
翌年(計画)	広報、ホームページ等による啓発活動	通年	広報やホームページ等での啓発を実施する。	広報、ホームページ等による啓発活動の有無		みらい環境課			

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(2)	市役所・町役場における省資源・省エネルギーの推進	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	A	基準年度比2%以上減	みらい環境課
			B	基準年度比1%以上2%未満削減	
			C	基準年度比1%未満の削減	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	町広報誌による啓発	町広報誌により推進のための啓発を実施する。	2	2
	町ホームページによる啓発	町ホームページにより推進のための啓発を実施する。	2	4
	二酸化炭素排出量の削減	庁舎等公共施設の二酸化炭素排出量の公表	1	1
翌年(計画)	二酸化炭素排出量の削減	庁舎等公共施設の二酸化炭素排出量の削減	基準年度比2%以上減	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4	該当なし			
翌年(計画)	該当なし			

【コメントなど】

R4	ガソリンや電気の使用量が減ったことにより、基準年度比6.6%減少となりました。ゼロカーボンシティ宣言や講演会を開催して、温室効果ガス削減についての啓発を行いました。
翌年(計画)	基準年度比2%以上の削減を継続目標とし、省エネルギーの取り組み推進を図ります。

【データ】

年度	実施事業	実施日	掲載内容	担当課
R4	町ホームページによる啓発	通年	再生可能エネルギーにかかる補助金制度等について	みらい環境課
	省エネルギー取り組み推進	年度中1回	庁舎内の二酸化炭素排出量の削減	
翌年(計画)	省エネルギー取り組み推進	通年	庁舎等公共施設の二酸化炭素排出量の削減	

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
1-(3)	小学校等へのごみに関する出前講座	・町職員によるごみに関する出前講座実施 件数	A	5件以上実施	みらい環境課
			B	3件以上5件未満実施	
			C	3件未満実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	町職員によるごみに関する出前講座実施	ごみに関する出前授業を実施する。	5回以上	3回
翌年 (計画)	町職員によるごみに関する出前講座実施	ごみに関する出前授業を実施する。	3回以上	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4				
	該当なし			
翌年 (計画)				
	該当なし			

【コメントなど】

R4	5、6月に小学校延べ2校に対し、塵芥収集車の仕組みや仕事、ごみ減量、資源ごみの分別、食品ロスなどについて講座を行いました。
翌年 (計画)	計画とおりの実施を目標とする。

【データ】

年度	実施事業	実施日	実施内容	場所	担当課
R4	町職員によるごみに関する出前講座	5月18日	4年生を対象に環境学習を行った	三和小学校	みらい環境課
		6月1日	4年生を対象にストックヤード見学会を行った	三和小学校	
		6月3日	4年生を対象に環境学習を行った	神田小学校	
翌年 (計画)	町職員によるごみに関する出前講座	通年	ごみや環境に対する出前講座を行う。	3回以上	みらい環境課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(1)	希少動植物の調査・保護	・自然環境学習における希少動植物の観察	A	環境学習及び自然観察会を6回以上実施	社会教育課
			B	環境学習及び自然観察会を3回以上実施	
			C	環境学習及び自然観察会を1回以下実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数(目標・予定)	回数(実績)
R4	自然環境学習	町内の自然環境等について、講師及び受講児童による観察を行う。	3回	5回
翌年 (計画)	自然環境学習	町内の自然環境等について、講師及び受講児童による観察を行う。	3回以上	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4	該当なし			
翌年 (計画)	該当なし			

【コメントなど】

R4	小学生を対象に「とういんネイチャーくらぶ」として環境講座を年5回実施しました。
翌年 (計画)	小学生を対象とする「とういんネイチャーくらぶ」での環境講座などで、自然観察を3回以上実施する。

【データ】

年度	事業名	実施日	実施内容	回数	担当課
R4	自然環境学習 「とういんネイチャーくらぶ」	通年	「とういんネイチャーくらぶ」として環境学習を実施	5回	社会教育課
翌年 (計画)	自然環境学習における希少動植物の観察	通年	「とういんネイチャーくらぶ」として環境学習を実施	3回以上	社会教育課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
2-(2)	農地の荒廃防止	・多面的機能支払交付金にかかる活動範囲	A	農地面積の70%以上	産業課
			B	農地面積の50%以上70%未満	
			C	農地面積の50%未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	多面的機能支払交付金	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して実施する。	70%	79%
翌年(計画)	多面的機能支払交付金	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して実施する。	70%	/

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4	該当なし			
翌年(計画)	該当なし			

【コメントなど】

R4	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して実施しました。
翌年(計画)	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して実施する。

【データ】

年度	事業名	事業内容	取組品目	実績	担当課
R4	多面的機能支払交付金事業	農業用水路の泥上げ、農用地・水路・農道の草刈・点検作業といった農地の維持管理等を、多面的機能支払交付金事業を活用して実施します。	70%	80%	産業課
翌年(計画)	事業名	農地面積	事業面積	割合	担当課
	多面的機能支払交付金事業	583ha	408.1ha	70%	産業課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(1)	河川の水質調査の実施	・環境基準設定河川における水質調査項目の環境基準達成度	A	90%以上	みらい環境課
			B	70%以上90%未満	
			C	70%未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	地点(目標・予定)	地点(実績)	担当課
R4	河川の水質調査	員弁川 河川類型A	90%	100%	みらい環境課
翌年 (計画)	河川の水質調査	員弁川 河川類型A	90%		みらい環境課

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4				
	該当なし			
翌年 (計画)				
	該当なし			

【コメントなど】

R4	員弁川で、4回の水質調査のうち100%の項目で環境基準が達成されていました。
翌年 (計画)	員弁川で、4回の水質調査を予定しており、環境基準達成率90%を目標に水質保全に努めます。

【データ】

年度	対象	地点数	地点あたり調査回数	項目数	調査内容 (項目明記)	環境基準達成率(%)	担当課
R4	員弁川 河川類型A	1	4	5	pH、BOD、SS、大腸菌群数、DO	100%	環境防災課
翌年 (計画)	員弁川 河川類型A	1	4	5	pH、BOD、SS、大腸菌群数、DO	90%	みらい環境課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
3-(2)	花づくり活動の実施	・花いっぱい運動の参加団体数	A	20団体以上	建設課
			B	10団体以上20団体未満	
			C	10団体未満	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	花いっぱい運動	参加団体に花苗と肥料を配布し、公共施設や沿道等に花を植栽し管理していただくことにより、快適な環境づくりに取り組む。	2回・25団体	2回・24団体
翌年(計画)	花いっぱい運動	参加団体に花苗と肥料を配布し、公共施設や沿道等に花を植栽し管理していただくことにより、快適な環境づくりに取り組む。	20団体	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4	該当なし			
翌年(計画)	該当なし			

【コメントなど】

R4	環境緑化の推進と緑化意識の高揚を図るため、自治会や町内各種団体等に、年2回花苗および肥料を配布し、沿道や公共施設など各所に植栽しました。24団体に参加いただきました。
翌年(計画)	環境緑化の推進と緑化意識の高揚を図るため、自治会や町内各種団体等に花苗および肥料を配布し、沿道や公共施設など各所に植栽を行います。20団体の参加を目標に花づくり運動に取り組めます。

【データ】

年度	参加団体	担当課
R4	筑紫老人クラブ(永楽会)他23団体	建設課
翌年(計画)	自治会や町内各種団体等 計20団体	建設課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(1)	環境学習会の開催	・ごみ減量等に関する学習会実施回数 ・小学生や自治会を対象にした環境関連施設等での環境学習の実施回数 ・自然観察会等実施回数	A	10回以上実施	みらい環境課 社会教育課
			B	5回以上10回未満実施	
			C	5回未満実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数(目標・予定)	回数(実績)
R4	ごみ減量等に関する学習会等	各種学習会、講演会等開催回数	2回	3回
	環境関連施設での環境学習	環境学習会等開催回数	1回	1回
	自然観察会等	とういんネイチャーくらぶ開催回数	1回	5回
翌年 (計画)	ごみ減量等に関する学習会等	各種学習会、講演会等開催回数	2回	
	環境関連施設での環境学習	環境学習会等開催回数	2回	
	自然観察会等	とういんネイチャーくらぶ開催回数	1回	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4	該当なし			
翌年 (計画)	該当なし			

【コメントなど】

R4	「東員町資源ごみストックヤード」の見学を町内小学校2回、「とういんネイチャーくらぶ」での環境学習を5回実施しました。
翌年 (計画)	ごみ減量等に関する学習会、環境関連施設での環境学習、自然観察会等を実施し、環境に対する意識の向上を図ります。

【データ】

年度	実施事業	実施日	実施内容	回数	担当課
R4	ごみ減量等に関する学習会等	5~7月	講演会、小学校出前授業等	3回	みらい環境課
	環境関連施設での環境学習	6月	資源ごみストックヤードの見学	1回	
	自然観察会等	通年	とういんネイチャーくらぶでの環境学習	5回	社会教育課
翌年 (計画)	ごみ減量等に関する学習会等	通年	講演会、小学校出前授業等	2回	みらい環境課
	環境関連施設での環境学習	通年	資源ごみストックヤードやリサイクルの森の施設見学	2回	
	自然観察会等	通年	東員こどもカレッジ「とういんネイチャーくらぶ」	6回	社会教育課

桑名・員弁広域環境基本計画 環境づくりの取り組み展開方針

【共通取り組み 評価項目及び基準】

項目	取り組み名	評価項目	評価区分	基準	担当課
4-(2)	一斉清掃活動の実施	・環境美化活動、清掃活動の実施回数	A	50回以上実施	みらい環境課
			B	35回以上50回未満実施	
			C	35回未満実施	

【入力事項】

年度	実施事業	実施内容	回数・件数(目標・予定)	回数・件数(実績)
R4	自治会主催の環境美化・清掃活	自治会が地域住民と実施する地域や公園の清掃活動	50回	98回
翌年 (計画)	自治会主催の環境美化・清掃活	自治会が地域住民と実施する地域や公園の清掃活動	50回	

【新規・変更・廃止事業】(該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。)

年度	新規・変更・廃止区分	事業名	事業内容	担当課
R4	該当なし			
翌年 (計画)	該当なし			

【コメントなど】

R4	計画通り実施することができた。
翌年 (計画)	計画とおりの実施を目標とする。

【データ】

年度	実施事業	実施日時	実施内容	実施回数	担当課
R4	神田地区 清掃活動	4/10他	神田地区6自治会	31回	みらい環境課
	稲部地区 清掃活動	4/10他	稲部地区3自治会	13回	
	三和地区 清掃活動	4/10他	三和地区3自治会	10回	
	笹尾地区 清掃活動	5/8他	笹尾地区8自治会	32回	
	城山地区 清掃活動	4/3他	城山地区3自治会	12回	
翌年 (計画)	各地区 清掃活動	通年	各自治会の清掃活動	50回	みらい環境課